



「饗宴」— 大分市佐賀関漁港 山城 幸三郎 (大7・大分市)



No.123
 (令和4年4月)
 大分市金池町 2-7-21
 パークサイド大分駅まえ 302号
 一般財団法人
四極会
 TEL 097 (538) 2462
 FAX 097 (529) 6623

なお勧めに思い切つて参加しました。会場に入つて周りを見回しても、もちろん見知つての方はいませんでした。会の開始直後は戸惑もあつて口数も少なかつたのですが、不思議にすぐに雰囲気溶け込め、楽しい時間を過ごしたことを覚えていました。その後は所用で熊本に不在だった年(1回)を除いて毎年参加しています。

私は大学の隣、旦の原の(ほとんど分大生)の音が聞こえてきました。今なら騒音ですが、その当時はワクワクする心地良い音でした。私も暇があれば麻雀をしていたように思います。成人式の前日に徹夜で麻雀をして、朝方ちよつと仮眠のつもりが夕方4時頃に目が覚め式に参加出来ず、虚しさとして買ってくれた両親に対する申し訳なさで、ただ黙つて夕焼けを見ていました。そのことが

楽しかった
 学生時代



(熊本支部長)
 宮本 孝則

会熊本支部長を身に余る大役と思いつながらお引き受けいたしました。四極会との出会いは、これ25年ほど前に大先輩の平井謙次氏に熊本支部の同窓会にお誘いを受け参加したのが始まりです。どうしようかと迷いましたが、平井先輩の人柄と熱心

パートに住んでいました。天気の良い日には遠く淡いブルーの海が見え、親元を初めて離れた解放感もあつてか、風光明媚な良い所に来たかと内心喜んでいました。その当時の旦の原は開発されてあまり期間が経っていません。しかし、大学が移転して5、6年にしては学生アパートがかなり多く有りました。夜には麻雀パイをかき回す音が聞こえ、また、夜遅くには酔っ払い

ませんが、子供のころから好きだった将棋をしようと将棋部に入り、麻雀から将棋に鞍替えして打ち込みました。また、良く都町に友人と繰り出し、酒を酌み交わしながら取り留めのない話をしていました。もし「社交術」というものがあるならこの時分に入門したように思います。

現在は、平成5年より熊本市で税理士事務所を開業しております。開業当時は若手だったので、いつの間にか還暦も優に越え、コロナのワクチン接種も高齢者の接種券が届く年齢になりました。ほんとに「光陰矢の如し」だとしみじみ感じています。

熊本支部は昨年11月に熊本の城南支部と合流して、今後は会活動と共にすることとなりました。コロナ禍で総会、懇親会の開催が出来ないように2年になり、同窓会活動に停滞感を感じる中、城南支部との合流は新たな展開を期待、或いは模索することが出来て心強いことです。合流したことは必ず熊本支部の発展に寄与すると確信しています。

本年経済学部は創立100周年を迎えます。熊本支部においても100年もの長きに渡り引き継いで来られた先輩方の「強い思いと伝統」を次の100年に向けて確実に次代に手渡す為に出て来ることを肅々として行きたいと思っています。

(税理士「大学28回」)



四極会 HP

令和3年11月1日より前会長の村山典隆氏の後を引き継ぎ、四極

100周年・・・あと2ヵ月

記念式典を待つ 大分市内のホテル



6月25日、100周年記念式典が行われる iichiko 総合文化センター

● 目 次 ●

巻頭言 楽しかった学生時代 宮本孝則	1
100周年・・・あと2ヵ月	2
全員で盛り上げよう	3
100周年を迎え感無量	4
募金、ギリギリまで頑張る	5
経済学部の総力を結集	6
記念式典にぜひ出席を！	7
大満足の経済トップセミナー	8
県内ツアーやゴルフ大会も	9
コロナ禍でも頑張る支部長	10
そごうの広島進出に奮闘	12
こんな人、あんな人：話題の大先輩	13
黒土さん、百歳おめでとうございます	14
四極会からも記念品を贈る	14
100周年を前に結束を固める	15
卒業50周年に想う（20回生）	16
四極文芸	20
さぶちゃんの突撃インタビュー	22
追悼 田原栄一先生を悼む	24
令和4年度 四極会寄附講義の予定表	25
自遊展 図書を紹介	26
卒業式	27
入学式 またまたオンライン授業	28
創立100周年 記念募金者	29
「塞翁が馬の如く」②	30
退官や異動の先生ら万感の思い	32
大学17回生がゴルフ大会	35
表紙のことば、物故者	35

全員で 盛り上げよう



四極会会長 石川 公一

わたる100周年記念事業にご協力いただいた会員の皆さんはじめ、関係者の皆さんにありがとうございます。心からお礼申し上げます。

おかげさまで、当初から計画した100周年記念事業も着実に推進され、募金額も1億4000万円と、募金目標額1億3000万円を超えるご寄付をいただきました。

四極会の皆さん、令和4年（2022年）は大正11年（1922年）に開校し、大分高等商業学校、大分経済専門学校そして国立大学法人大分大学経済学部と歴史の糸を紡いできた我が母校創立100周年の年であります。

6月25日には、100周年記念式典が大分市において挙行されます。これまで、特にここ2年余り新型コロナウイルスの世界的大流行という、人類史上7番目のパンデミックにより激変した社会経済的状況にもかかわらず、各般に

に」か。100周年はいわば「通過点」であり、次なる100周年を見据え、これからの四極会の新しい活動を展開する「出発点」でもあります。

激変する世界的、国内的状況、さらに地域社会における状況を踏まえ、我が母校大分大学経済学部がこれから果たすべき役割とは「なに」か。今、100周年を迎え、歴史と伝統ある母校大分大学経済学部には「なに」が期待されているのか（?!）、ここで今一度考えてみるべきであります。

85の国立大学法人間においても、大学間「大競争」時代に突入しており、北海道の小樽商科大学、北見工業大学、帯広畜産大学が北海道国立大学機構に、名古屋大学と岐阜大学が東海国立大学機構になり、静岡大学と浜松医科大学が、奈良教育大学と奈良女子大学が統合に動いています。なお、公立大学法人間においても、大阪府立大学、大阪市立大学の統合が進められているという状況にあり、その3割が定員割れを生じている私立大学（短期大学）だけでは

なく、85の国立大学も、今、まさに、存亡の危機にあるという認識を持つべきです。

国立大学法人大分大学経済学部として、以上に言及した現代の世界、我が国、地域社会をめぐるこのような、いわば「カオス」ともいえるべき政治的、経済的、社会的状況を厳粛に受け止め、これからの教育、研究、就中、就業という「出口保障」などその活動について、どのように対処するべきでしょうか。

少なくともいえることは、地方の国立大学として、当該地域社会が当面する地域の政策課題の解決に向けて「大学の知見」を最大限生かし、行政や企業に対し適宜、適切な指導、助言、提案等を行わねばなりません。例えば、環境問題、観光振興、農業振興、あるいは自然災害等の危機管理、もちろんAIをはじめ大分県版のデジタル社会の形成の推進など、一歩先んじて地域社会をリードしていく責務が大分県における高等教育機関、唯一の国立大学法人として毎年度多額の運営費交付金が交付されている大分大学の

使命であります。

次に、大分大学経済学部同窓会である一般財団法人「四極会」としては、これからのかにするべきかという課題があります。母校経済学部との関係、高齢化している上野丘世代の会員、四極会活動にあまり関心を示さない、且野原世代の会員、4割を超える女性会員に対し、四極会本部、37の地域支部、7つの職域支部は、どのようにして働きかけ、同窓会活動に積極的にかかわってもらえるようにすべきか、母校100周年の節目に当たり、同窓会である四極会としても、真剣に考え、適宜、適切に実行していく時期におかれていると考えられます。

もちろん、これまで、女性部会の発足、ホームペーJの開設などの組織・運営改革に努めており、また、今回の100周年記念事業などに関し、若い且野原世代のパワーに触れ、心強く感じているのは、私一人ではないと思います。

100周年の意義とは「な

100周年を迎え感無量

次の百年へのシンボル建立



野々下 俊昭 委員長

大分大学経済学部創立100周年記念式典が開催される6月25日(土)まで2か月となくなってまいりました。

100周年の記念事業実行委員会は平成29年11月24日に4つの小委員会との合同委員会を初めて開催。100年にわたり教官、先輩卒業生の皆様が営々と築いてこられた「光り輝くレガシー(歴史と伝統)」を踏まえて、継承すべきものは継承し、改革するべきものは改革して「新たなレガシー」をこの機会に構築し、経済学部と四極会の発展を次世代に引き継ぐというコンセプトのもと100周年事業の成功に向けて、決意を共有しました。これまで11回の会合を重ねて協議して参りました。

①記念式典②事業③募金④広報の各委員、経済学部の教官、



100周年記念碑の除幕式に参列した北野学長、高見経済学部長、石川会長、それに東京四極会の奥川会長ら四極会役員。



門柱レプリカと記念碑。記念碑は東京四極会の寄贈。揮毫は木山廣喜氏。

経済学部事務局、それに四極会の本部役員、会員の皆様のご協力とご支援をいただき、本番の記念式典を実施出来る運びとなつて参りました。実行委員長として感無量です。記念事業に関しましては、これまでも会報な

どを通じてお知らせしてきました。黒土始記念講堂に続いて、「100周年記念公園」や記念碑「旧高商校門レプリカ」「アーカイブルーム」なども整備しました。その他の主な事業については、四極123号に記載しているとおりです。そのほか、100周年記念誌も順次執筆されてお

り、記念式典までの事業を収録して11月には発行を予定しています。四極会会員の皆様におかれましては、100年に一度しかない貴重なセレモニーと事業であります。お誘いあわせの上、記念事業に奮つてご参加して、母校の100周年をお祝いし盛り上げていただき、人生の思い出にしてもらいたいと思います。

1億4000万円 目標をクリア



100周年の懸垂幕には勇気づけられました

募金、ぎりぎりまで頑張る
玉井鉄之募金小委員長

感慨ひとしお



2018年7月より、大分大学経済学部創立100周年記念事業の一つとして、記念募金活動がスタートし、早いもので3年8ヶ月が経過しました。今年3月末実績では約3100名の皆様から約140百万円以上の募金が寄せられており、目標である

130百万円を達成、ご協力ご支援に対し心から御礼申し上げます。なお、記念募金は記念式典当日(6月25日)まで受付となっており、残り3ヵ月最後のがんばりで少しでも多く積み上げを図っていきたいと考えています。

さて今回の100周年記念事業は経済学部と四極会との共同事業として取り組みが始まりました。募金小委員会の活動としては、コロナ禍でいろんな制約をうけましたが、①四極会会員の個人募金積み上げと②大学先生方とのペアによる法人向け募金活動の2本柱で

取り組み、何とか当初目標を達成でき、改めてお世話になった皆様に感謝申し上げます。私自身、100周年事業に立ち会えたこと、また募金小委員長として募金目標130百万円をクリアできたことは、大きな喜びであります。

この募金活動を通じて全国各支部そして各職域の支部長さんには何かとご無理なお願いを聞いていただき大変感謝しております。この100周年を機に、大分大学経済学部と四極会がより、組織強化を図り、連携を深め、次の100年に向けて更なる発展をしていくことが大事だと考えています。その為、12000名会員が一致団結して100周年の機運を盛り上げるとともに、「母校愛」と「誇り」を持ち、今後ともさらに同窓会活動にかかわっていく必要があると考えています。

式典当日は、多くの方と100周年の喜びを分かち合い、美味しいお酒を飲みたいと思っております。本日に100周年募金活動にご協力いただきありがとうございます。

本日に100周年募金活動にご協力いただきありがとうございます。

経済学部 総力を結集

100周年を前に熱気ムンムン

先頭に立つ高見学部長



高見 博之 氏

3回目（10月15日以降）からは、感染予防策を実施することが可能な授業は、対面形式での実施となり、課外活動も許可制となり、大学らしさが戻りました。しかしながら、新型コロナウイルスのオミクロン株による感染拡大のため、1月17日から原則オンライン授業に逆戻りとなりました。課外活動も原則禁止、家族以外との4人以上の飲食も当分の間禁止で、コロナ禍の学生は、学業面でも生活面でも厳しい状況にあります（3月上旬時点）。今後、感染状況が落ち着けば、令和4年度前期は対面授業が復活の見込みです。

ついに経済学部創立100周年の年となりました。これまでの記念事業の準備をされてきた四極会のみならず、100周年記念事業実行委員会のみならず、そしてご支援下さった方々のご尽力に感謝申し上げます。コロナ禍でみなさまは様々な制約の下でお過ごしのことと思います。大分大学でも2021年度の後期もコロナ禍の影響を受けました。後期の各授業の

3回目（10月15日以降）からは、感染予防策を実施することが可能な授業は、対面形式での実施となり、課外活動も許可制となり、大学らしさが戻りました。しかしながら、新型コロナウイルスのオミクロン株による感染拡大のため、1月17日から原則オンライン授業に逆戻りとなりました。課外活動も原則禁止、家族以外との4人以上の飲食も当分の間禁止で、コロナ禍の学生は、学業面でも生活面でも厳しい状況にあります（3月上旬時点）。今後、感染状況が落ち着けば、令和4年度前期は対面授業が復活の見込みです。

令和3年9月に完成した黒土記念講堂（202号教室）は、柔らかく、暖かい雰囲気のある教室となりました。通常の大人数の講義、ゼミだけでなく、大学入学共通テスト（1月）や前期・後期日程の入試でも大活躍です。同時期に完成した100周年記念公園は、空がよく見える広々とした明るい空間です。今後、学生の憩いの場となるようベンチ等も設置予定です。経済トップセミナーでは、第1回から第4回まで毎回100名前後の学生が申し込み、この機会であれば経験できないような各界のトップの講師の講演を受講しました。渡邊博子教授のゼミ生は会場で大活躍でした。第5回の最終回はコロナ禍にて5月26日に延期となりましたが、さらに多くの学生が聴

講できる機会となりそうです。100周年記念碑と大分高商・大分経専時代の門柱のレプリカも建立されました。記念事業が学生にとりましても有形・無形の四極会の先輩方、地域社会の応援、期待を感じ取ることができ空間になることは確実にです。令和2、3年度卒業生は、現役学生としては100周年に立ち会えず、コロナ禍で卒業記念パーティーも中止となつてしまいましたが、その代わりに卒業記念品として100周年のロゴの入ったモバイルバッテリーを手に社会に巣立っていきました。記念事業も合わせ、100周年を迎える気分を味わってくれたものと思います。



広々とした 黒土 始 記念講堂

の想い出として語り継がれる材料になるような100周年とそ先の先を築しみに四極会会員のみなさまと共有できるよう学部の総力を挙げて活動を続けて参ります。会員のみならずにおかれましては、引き続き母校へのご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

記念式典にぜひ出席を!

**13時30分から記念式典
iichiko音の泉ホール**

大分大学経済学部創立100周年記念式典は、2022年6月25日(土)13時30分から大分市内のiichiko総合文化センター音の泉ホール及びホテル日航大分オアシスタワーで開催されます。

広瀬勝貞大分県知事をはじめ各界から多くのご来賓を予定しています。記念式典の進行を考えている経済学部の石井まこと教授は、今回の式典について次のように述べています。100周年と



記念式典が開催される iichiko 音の泉ホール

は、1世紀を経て経済学部が存続してきたことを振り返り、次の航海に出る門出の年でもあり、その船出に相応しいものを考えた。四極会の会員の皆様には、十分に満足できるお迎えができるように準備万端努めています。これまで学部の運営に功績のあった方々へ感謝しつつ、美味しい酒食を共に、文化や夢を語り合える場になれば幸いです。100周年実行委員会の野々下俊昭委員長のもと、大学と四極会が力をあわせて頑張っています。ですが、コロナ禍の状況で、会場の使用状況が心配されます。現時点では開催の方向で進めています。事態が変われば別途ご連絡致します。

**15時30分から記念講演会
iichiko音の泉ホール**

100周年の門出を祝う記念講演は、直木賞作家安部龍太郎氏に講師をお願いしました。安部氏は、戦国武将・大友宗麟を主人公に、地元の大分合同新聞に1年間「宗麟の海」を連載、大好評を得ました。安部氏は戦国時代を扱う時、経済面を重視して書いており、経済学部の講演会として相応しい内容になると確信しています。是非聴講をお薦めします。

**18時から記念祝賀会
ホテル日航大分孔雀の間**

午後6時からホテル日航大分オアシスタワー5階の



安部 龍太郎 氏



ホテル日航大分孔雀の間

『孔雀の間』で開催します。各界から多くのご来賓をお招きし、大学の先輩や四極会の同窓生とともに、にぎやかな大宴会となります。また、今回は、祝賀会の会場で同期会の開催も予定されています。大学12回生、13回生、14回生、16回生などの状況次第では、中止も考えられています。コロナ感染日は、楽しいアトラクションと八鹿のおいしい酒に、山海の珍味が皆さんをお待ちしています。

大満足の経済トップセミナー

第4回
令和3年12月9日



九州電力(株)
代表取締役社長執行役員
池辺 和弘氏

第3回
令和3年11月18日



サッポロビール(株)
代表取締役社長
野瀬 裕之氏

第2回
令和3年10月21日



前日本銀行総裁
白川 方明氏



J:COMホルトホール大分

令和4年2月17日開催予定で
した第5回経済トップセミナー
は、令和4年5月26日(木)に
日程が変更となりました。事前
申込みを改めて行いますので、
当初申し込みをされた方には誠
に申し訳ありませんが、下記に
より申し込みをお願いします。

第5回は青柳JR九州会長(5月26日開催)



青柳 俊彦氏

○日時
令和4年5月26日(木)
13時(開場12時30分)
(これまでと開演時間が変更
となっておりますのでご注意
ください。)

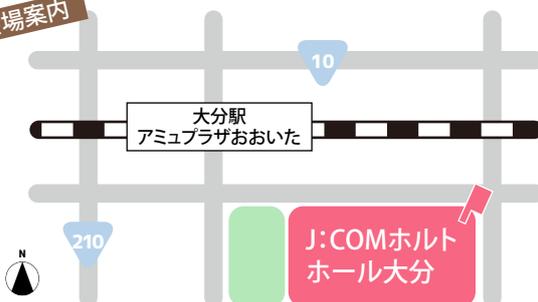
○場所
J:COMホルトホール大分
(大ホール)

○講師
九州旅客鉄道(株)
代表取締役会長執行役員
青柳 俊彦氏

○お申し込み
一般財団法人四極会事務局
〈FAX〉097-529-6623
〈TEL〉097-538-2462
〈E-mail〉shiwasu@pod.b.
ne.jp

○お名前・住所・連絡先電話
番号等を記載し、FAX又は
E-mailで申し込みください。

会場案内



こちらからでも
申し込みできます

県内ツアー ゴルフ大会も

① 六郷満山訪問ツアー

○ 6月24日(金)

12時 大分空港集合・出発

↓ 別府駅

↓ 宇佐神宮

↓ 富貴寺

↓ 17時大分駅前着

○ 募集人員40名

(最少催行15名)

○ 参加費 6000円

(昼食は各自でお取りください)

② 母校訪問ツアー

○ 6月25日(土)

9時

大分市要町バス駐車場(大分駅東側)

↓ 9時15分〜10時

上野丘校舎跡地

↓ 10時20分〜11時40分

巨野原キャンパス

↓ 12時

100周年記念式典会場

(iichiko総合文化センター)

○ 募集人員 80名

○ 参加費 無料

③ 白杵石仏・城下町観光ツアー

○ 6月26日(日)

9時 大分市要町バス駐車場(大分駅東側)

↓ 9時50分〜10時50分

白杵石仏

↓ 11時10分〜13時30分

白杵城下町

〃 二王座歴史の道〃 散策

「野上弥生子記念館・稲葉家下屋敷」

(昼食&ショッピング)

↓ 15時JR大分駅

↓ 大分IC

↓ 速見IC

↓ 16時20分

大分空港

○ 募集人員40名

(最少催行15名)

○ 参加費8000円(昼食付)



参加申し込みは四極会事務局へ

④ ゴルフ大会(大分竹中カントリークラブ)

6月26日(日) 9時30分スタート・セルフプレー

・10組程度予定・プレー代10,000円(食事込)

⑤ ツアー等申し込み方法

○ 四極会事務局

所定の返信用ハガキ

TEL) 097-538-2462

FAX) 097-529-6623

E-mail) shiwasu@pod.b-ne.jp

参加申し込み後、個人あて詳細を通知

⑥ 宿泊及び大分までの交通は各自で手配をお願いします。

前夜祭も開催

○ 6月24日(金)

16時〜21時

○ お部屋ラボ祝祭の広場

○ 出演者

OBバンド3、学生サークル5

自遊展のご案内

○ 6月22日(水)〜26日(日)

○ iichiko

総合文化センター1階

アトリウムプラザ

○ 今回は100周年を記念し

全国から作品募集



祝祭の広場



自遊展

若い四極会員の奮起を！



大分支部長 高井 道晴(大21)

大分大学経済学部の前身为大分高等商業学校である。1922年に全国8番目の官立高等商業学校として開校した。当時は日本全国で学校設立の誘致活動が盛んに展開されていたが、大分県も官民一体となつての誘致活動を行い、激しい競争を勝ち抜いて上野丘の地に大分高等商業学校が

開校された。

その後、大分経済専門学校を経て1949年に大分大学が設立された時、経済学部として引き継がれてきた歴史を持つ。高等商業学校は、第1次世界大戦後の好景気を受けて、日本の経済活動を担うビジネスエリートを養成するための専門学校であった。

1925年に第1回の卒業生が世に送り出され、同時に大分高等商業学校同窓会が発足した。これが四極会の前身の同窓会であり、四極会の名称が使われるようになったのは1927年の母校創立5周年記念事業からである。

この100年の間に環境は大きく変わり、大分大学経済学部に求められる役割も異なってきた。大学の数も増加し、昔のように地方の大学の卒業生が、中央に出て行って、人材不足を補うという構造ではない。今では地方の大学が地元で果たす役割はとも大きくなくなっている。このような変化に伴って四極会も変わっていく必要がある。

周年

コロナ禍でも頑張る支部長



別府支部長 宮川 喜久生(大26)

米作りは水加減が一番

るだろう。私が入学したときは同学年の女子はわずか3名であったが、今はほぼ半数が女子学生である。彼らの同窓会に対する思いも昔とは大きく異なることであろう。生々しいことを言つて申し訳ないが、100周年の事業を成功させるために必要になるものは何といたしてもお金である。そのために全国の会員に対しての募金活動を行ったわけであるが、その中から見えてきたものがある。それはズバリ年配の会員と若い会員

母校の創立100周年はまさに感慨ひとしおです。ちよつと大学とはかけ離れた米作りの話です。米作りは以前から両親と共にやってきた。自家分と小作

の、四極会に対する帰属意識の違いである。地元の大分市においても募金活動は苦勞をした。若い会員と年配の会員で募金の金額に差があるのは仕方がないとしても、募金をしていた方がいい方の比率には歴然とした差がある。若い会員の募金率はかなり少なかつた。100周年を機にこのような現実をしつかりと受け止めたうえで、今後の同窓会活動を考えたいかねばならないと思う。

分を合わせ最大五町歩を3人でやらなければならぬことになつた。箱苗つくり、田植え、稲刈りそして籾摺りの四大イベント。これまでは、職場に「農繁休暇」を申請し手伝つた程度だつた。しかし、箱苗は500枚、籾摺りは30キロの出荷用紙袋で800枚にもなつた。恐ろしいほどの単純作業ではあつたが、続けられれば終わりが来た。走り続けられれば必ずゴールが来てくれる。そ

う、マラソンと同じだ。両親が年老いてからは自宅横の圃場整備した田圃1枚、4反歩のみになつてはいるが、1人では心許ない。手許に今回の初心者マーク米作り作業日誌がある。5月の箱苗作りから籾摺りまでの150日間を記録した。もっとも行数が多いのが水管理だつた。

稲作で最も大事で手を取るのだが、まともにやつたことは勿論ない。4大イベントの間の地味で経験と勘に頼る部分が大い。と、今振り返つて思う。「水加減」が収量に大きく影響している。「いい加減」にしてしまうと酷いことになる。「てもり」(田守り)の大部分は水加減。加えたり減らしたりの繰り返しで、稲が水を欲しがっているときは十分に与える。敢えて水を枯らして根を強く張らせる必要もある。しかし、この加減を教えて貰つてはいない。近所の師匠と農家の同級生にしつこく聞いた。更に、近所の田圃の様子を見比べながら加減してきた。米作りに関して、あんまり神経質にならなくても、放たつちよつてんが稲は育つんじやと言ふ声も聞いたが、1年生は失敗を恐れ臆病にならざるを得なかつた。朝5時に起きて水をみて、夕方から夜、仕事から帰つて又一回り。3カ月間この生活を続けたがさすがにコタエた。お陰様でちゃ

100

65歳の挑戦です



宮崎支部長 梅崎 裕一 (大27)

大分大学経済学部創立100周年おめでとうございます。

私は昨年42年間務めた宮崎銀行及びグループ会社を退職し、総合建設会社の大淀開発(株)顧問として再就職しました。いよいよ前期高齢者の仲間入りです。

私は、「何でも挑戦、チャンスを逃すな」を心掛けて色々なことに前向きにチャレンジしています。

第一は、けん玉です。小学生の孫とけん玉教室に参加し腕を磨いています。子供は上達が早く日本けん玉協会の昇級試験で一級に合格しましたが、私は三級から昇級できず差が開くばかりです。

第二は、神社仏閣の御朱印収集です。伊勢神宮参拝から始まり、全国各地60社以上の神社仏閣を参拝しました。御朱印帳が四冊目に突入しています。

第三は、ギター弾き語りです。

数年前から妻とギター弾き語りを続けており、何回かステージで発表したものの新型コロナウイルスの影響で発表の場がなくなり寂しいです。

第四は、サッカーです。小学生の孫がサッカー好きでよく遊びます。先日はボールにつまずいて右足を骨折し3週間会社を休みました。やはり年には勝てません。

第五は、パワーショベルの免取得です。

私達夫婦には、宝くじが当たったら山を購入して自分で開墾してみんなが集まれる憩いの場を作るという大きな夢があります。未だに宝くじは当たりませんが、先に準備をしようとして私達夫婦でパワーショベルの免許を取得しました。あとは宝くじが当たるとのを待つばかりです。

その外にも家庭料理や布製マスク作り等色々なことにも挑戦しています。

私は宮崎支部長として8年目になります。新型コロナウイルスの影響で支部総会を2年間開催していないので今後の運営について不安はありますが、新型コロナウイルスが落ち着いたら活動再開し四極会の発展に寄与したいと思っています。

瀧廉太郎と日出藩



速杵国東支部長 吉良 正英 (大22)

瀧廉太郎の父瀧吉弘は、徳川幕府治世の264年間豊後日出藩を支えた主要な家臣の家柄瀧家の当主で、日出藩で家老の次

の武士の頭である武頭(もののみかしら)を務め槍術に優れていました。廃藩置県に伴い日出藩がなくなつたので、職を失い、家族ともども東京に出て明治政府の内務省事務官に登用され、大久保利通や伊藤博文の知遇を得ています。

廉太郎はこの時、東京市芝区南佐久間町で母正子との間に長男として生まれ、父が廉の字に長男の太郎を付けて廉太郎と命名しました。

明治25年、父が、大分県直入郡長に任命されたので、彼は12歳で直入郡高等学校2年に転入しました。15歳(中学3年)で東京音楽学校入学試験に合格、入学し、18歳で本科を首席で卒業しています。現在では、高校に入学する年に大学に相当

する音楽学校に入学し、順調に卒業できた才能は優れたものだったのです。また、彼は我が国の西洋音楽草創期日本式音階の5音階から西洋式音階の7音階を取り入れるべくその普及に心血を注ぎました。日本の西洋音楽の生みの親「楽聖瀧廉太郎」と言われる所以です。

瀧廉太郎が23歳10ヶ月で亡くなる前に作曲し、彼の最後の作品となつた曲がピアノ曲「憾み」(うらみ)です。この曲は通常ではありえない最後の音がドレミのレで終わっているのです。ピアノ楽器最低音「レ」を最後に刻印した想いを辿ってみますと以下の3点が考えられます。

- 1、ラテン語のレコルダールのレで記憶くださいの意
 - 2、レクイエムのレで亡き人を偲(しの)ぶ歌の意
 - 3、イタリア語で勝利(ヴィンシトーレ)の意味のレが考えられ自分はこれのように若くして亡くなるが、人生に負けたのではなく勝利したのだと述べたかったのだと考えられるのである。
- ベルギーの山奥のシユートイック修道院では、今も礼拝に「荒城の月」のメロディーが賛美歌で流れています。これに

(別府支部)

は理由があつて、日本の芦田神父が、ベルギーに転勤になった際、求めに応じてカトリックの総本山バチカンへ讚美歌にどうかと楽曲を推薦し、礼拝音楽担当のジムネーズ神父が荒城の月の旋律を讚美歌に編曲し、讚美歌として使われるようになったことがわかったのです。1986年「荒城の月」にスラブ語のケルビム賛歌（ガブリエルが主を讃える曲）を当てはめたところ見事に一致したと言われています。

最大の課題は後継者



日田支部長 佐藤 学（大34）

ご存知のとおり、日田市は日本有数の林業地です。この地に生まれ育った私には、あたり一面の杉林の風景についてあまりにも日常過ぎて何も気にしていませんでした。何か物足りなくもつと都会的な刺激を求めて昭和57年（1982年）大学に入学しました。当時、杉丸太の価格は現在の約3倍

若くして大分市の県庁横の自宅で亡くなった瀧太郎と瀧家の墓は、現在、大分市の萬壽寺から子孫の意向で日出町の龍泉寺に移設され、日出藩を支えた多くの先祖とともに眠っています。大分県を代表する天才作曲家「楽聖瀧廉太郎」の墓が、空路ご利用の際などに国道10号線沿いにあり、駐車場もゆつくりしていますのでお気軽にお立ち寄りください、その功績に思いを馳せていただけたら幸いです。

業について中々理解していただけないでしょう。残念ながら大分大学経済学部でも林業経営について学ぶことはできませんでした。日本は戦後工業に力点を置き製造した工業製品を海外に輸出して経済的に豊かになってきました。工業製品を輸出して得た利益で海外より農林産品を輸入した方が合理的という発想が大勢を占めたのでしよう。農林業より商工業に従事した方が所得が多かったのでしょう。多くの人が農山漁村を離れ都市に集中しました。私もその一人でした。卒業後広島県の企業に就職し10年ほど故郷日田以外の場所です生活しました。しかし、いつかは故郷大分県日田に帰ろうと決めていました。外での10年間貴重な勉強をさせて頂き念願かなって30歳の時、無事？日田に帰って来る事ができました。喜ぶであろうと思っていた父が複雑な表情だったことが意外でした。何はともあれ、今は林業に夢中です。1分1秒の経済もあれば1000年2000年の経済もあります。日本経済は成熟期に入ります。悪く言えば国力は衰弱しつつあります。海外から安い物資を安易に輸入することは困難になって来ることが予想されます。

今日日本にある資源、そして再生可能な貴重な資源を見直す時ではないでしょうか？実は36年前の私の卒業論文のテーマは「地場産業の合理性」です。今後体を張って実践していきます。今の最大の課題は後継者の確保です。

林業はよく教育に例えられることがあります。すぐには結論を出すことはできません。日々こつこつと精進することが肝要であると思います。大分大学経済学部も長期ビジョンをもって邁進されますこと祈念するばかりです。

そごうの広島進出に奮闘



柚崎さん（大5）が自伝を刊行

は、当時の社長に直談判して、開設準備会設置にこぎつけ、「広島の人にとつて誇れるものをつくる」と自身に言い聞かせながら、広島街の街を奔走したと明かしています。

広島市在住で大学5回生の柚崎博さん（88歳）を紹介します。1974年の広島そごう開店に尽力し、80〜90年代の10年間、店長を務められた。

柚崎さんは、俳句にも精通しています。そごうグループがバブル崩壊で経営破綻した時、柚崎さんはバブルを「人間の我欲が生み出した、束の間のドリムと悪魔」と表現。

このほど、自伝「証言 紙屋町を創った男」を刊行しました。柚崎さんは、57年にそごう大阪店に入社。母親の死をきっかけに、そごうの広島進出を誓い、候補地の選定から地元の理解獲得までの奮闘ぶりを紹介しています。

「落日や 金波銀波の 大夕焼」との一句に気持ちを込められた。

この回顧録は、広島の地元の新報で紹介され、多くの方が連絡を取りあっているそうです。

なお、柚崎さんは、経済学部時代は、山岳部と新聞部に属し、青春を謳歌しました。

「広島そごう開設へ」の章で

こんな人・あんな人： 話題の大先輩

戦争の記憶を語り継ぐ活動に力を入れる
別府市遺族会連合会長

宮森 智久さん(88)



ひと

昨年12月に援護事業功労者として厚生労働大臣表彰を受け、「一緒に活動をしてくれた仲間たちのおかげ」とほほ笑む。後進の育成にも尽力し、消滅していた青年部を2020年11月に復活させた。「国のために戦った人たちを次世代に語り継ぐことが、戦争を繰り返さない国家の実現に必要な」と考えている。

後進育成に青年部を復活

た。長崎県佐世保市から別府市に引き揚げたが、戦後は貧しい生活が続いた。遺族会で母の手伝いをするうちに「遺児が交流する場もつくりたい」との思いを持ち、1947年に亀川地区で青年部を設立。各地区で世話役を探し、市全域に広げた。78年まで青年部長を務めた。2012年から連合会長。旧制別府中に進み、別府鶴見丘高を卒業。大分大経済学部に入った。「父の遺言通りに兄弟全員を進学させた母に感謝したい」。別府信用金庫(現大分みらい信用金庫)に就職し、定年まで勤めた。1999年から公民館の絵画教室で日本画を学んだ。フランス官展ル・サロンに4回入選し、作品はパリのグラン・パレで展示された。2007年から日本画教室を始め、育成した講師たちが市内各地で教室を開く。「日本人にこそ魅力を知ってほしい」と初心者には画材を贈る。同市中島町で暮らす。(伊藤友仁)

大分合同新聞2022年1月24日朝刊に連載された「ひと」

経済学部卒業生は、日本各地で活躍しています。社長、国会議員、市町村長、市町村議員、大学の教授もいます。

一つの企業や役所でその道一筋に勤め、部長・局長にまで昇りつめた人もいます。

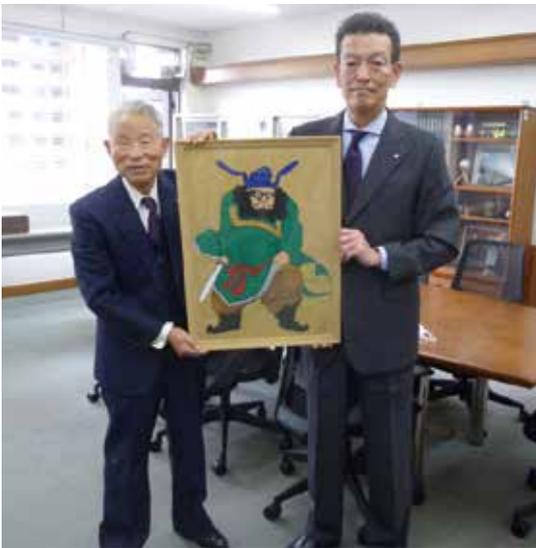
卒業してからは、地域のリーダーとして、毎日忙しく走り回っている先輩もいます。

そのような活躍する先輩を取り上げて紹介していくというコーナーです。

別府市の宮森智久さんが、ご覧のように地元の大分合同新聞の「ひと」のコーナーに取り上げられました。この「ひと」のコーナーは、大分合同新聞の目玉の一つで、読者が大変多いと聞いています。

今後、こうした話題の人がいましたら、四極会事務局までぜひ一報をお願い致します。

大分県教育委員会に 日本画を寄贈



岡本 天津男・県教育長(右)と宮森さん

毎年、自遊展に日本画をご出品していただいています。宮森智久大先輩(大学4回)がこのほど大分県教育委員会に日本画を寄贈されました。

同窓生・岡本天津男さん(大学32回)の県教育長就任を祝い、そのご活躍を祈念するもので、12月17日、教育長室でわたされました。

画題は、中国で魔よけの霊力をもつ神様と言われる「鐘馗」とし、新型コロナウイルスを防ぎ、追い払うとの思いを込め、約1か月かけて完成させた力作です。

岡本教育長は、そのご配慮に感謝の言葉を述べ、教育長室に展示したいとのことでした。

宮森大先輩は、今年88歳を迎えられ、別府市日本画協会会長として、やさしい日本画の普及に努めておられます。

この会の「やさしい日本画教室」の生徒さんは約70人にも上るそうで、皆様方にも、趣味や生きがいとして、ぜひ日本画を描いてもらいたいとのことでした。



深紅のバラの花束を手に、お元気な黒土さん

百歳おめでとうございます

黒土さん

北九州支部が百本のバラを贈呈

令和4年1月31日、満100歳を迎えられた、第一交通産業の「黒土始」先輩の『百寿』をお祝いする会を、1月20日（水）12時から小倉の名店「観山荘別館」にて、「北九州四極会」と医学

部「玉樹会北九州支部」有志で計画しましたが、年明け後にオミクロン株が急速に感染拡大となり、やむなく開催を断念、延期することになりました。昨年も『白寿』をお祝いする会を計画しましたが、コロナ禍で中止になり、今年こそはとご本人も楽しみにされていたと伺っており、返す返す残念な結果となりました。会が開催されませんでした。が、会でお渡しを準備しておりました「バラ100本の花束」を、会社へお届けしました。先輩は、100歳の今なお毎日会社へご出勤されており、届いたバラ100本の贈り物に熱く感動され、世話人へ直接御礼のお電話を頂きました。先輩と普段の接触は、全て秘書経由であり、私の携帯電話に直接掛かってきた

このように先輩がいることは誇りであり、会を企画した皆様も含め、今後とも、ご健康で長生きして頂くことをお祈りしております。

大学の後輩たちにとって、このように先輩がいることは誇りであり、会を企画した皆様も含め、今後とも、ご健康で長生きして頂くことをお祈りしております。

参加予定であった方々

- 北九州四極会 13名
- 黒土始、花田良継、
- 鶴池寛、板橋紘平、
- 篠原利夫、久保恵一、
- 吉永真一、秋田嘉憲、
- 浜口広幸、赤坂英典、
- 寺田謙次郎、木村靖、
- 吉田修
- 玉樹会 3名
- 石橋照三、近藤克洋、
- 今村寿宏

(記述 大学21回久保恵一)

四極会からも記念品を贈る



黒土先輩の満100歳のお祝いのため、1月25日、経済学部と四極会は北九州市の第一交通産業を訪問しました。経済学部からは高見学部長、渡邊教授、四極会からは石川会長、足立理事、荒川常務理事が出向き、高見学部長、石川会長から黒土先輩に記念品をお渡ししました。黒土先輩は、大変お元気で、100周年のことや第一交通産業でがんばっている経済学部卒業生のことなど約1時間にわたり熱心にお話をされました。6月25日の記念式典には是非出席したいとのことで、関係者一同大分でお待ちしています。



100周年を前に結束を固める

黒土始記念講堂で全国支部長会議



オンラインで会議に臨んだ全国の支部長



黒土始記念講堂には石川会長はじめ四極会役員らが出席

経済学部創立100周年を間近に控えて、3月5日、経済学部の黒土始記念講堂で全国支部長会議が開かれた。

会議はオンライン形式で、全国の18支部長が参加した。東京四極会の奥川隆生理事長や久保恵一北九州支部長ら10人は会場出席でした。まず、石川公一四極会会長

があいさつ。100周年の準備に当たっては、平成27年から取りかかり、2つの委員会を立ち上げた。その中で、支部と本部のあり方を見直す議論を深めた。

その後、100周年記念事業の実行委員会を発足。経済学部と四極会が一体となって準備してきた。野々下実行委員長には大変お世

話になった。また、記念募金については、玉井鉄之募金委員長が一生懸命に取り組んでいただき、現在、1億4千万円となっている。残り本番までなお取り組みたいと思っている。残すところ、3か月となったが万全の準備をして本番を迎えたいと述べた。

続いて、高見博之経済学部長と野々下俊昭実行委員長があいさつ。議事では、100周年記念式典の日程などについて確認した。今のところ、すべて予定どおり開催する方向で臨むことになった。このあと、奥川

東京四極会理事長を皮切りに、オンラインで参加の支部長が一人ひとり発言。会場出席の支部長も続いた。最後に相良浩名誉会長が締めめのあいさつをして終了した。



渡邊ゼミの3人が加勢

オンライン会議は大分大学支部長でもある渡邊博子教授の指導のもと、3人の学生（渡邊ゼミ）がすべて準備、本番で機器の操作を担当した。2人は今春卒業し社会に巣立つ。活躍を期待している。



写真は活躍の3人

卒業50周年に想う

人生の師「新橋烏森」

大学20回 渡邊 秀生（大分市）



今年には経済学部創立100周年ですが、人は100年と並んで50年という区切りも大好きなようです。50年は半世紀であり、会社や組織の周年行事には50年は欠かせませんし、結婚記念日も50周年は金婚式としてお祝いします。また仏教の世界でも50回忌で法要は終了し弔い上げとしています。今回こうして寄稿の榮に浴したのも、卒業50年を記念してのものであり、これも50年という数字が持つ不思議な力のせいなのです。

さて私のこの50年ですが、イコール「会社人として過ごした期間」と言えます。今回の寄稿に当たり自己評価してみたのですが、当時母校の成績判定にあった「良上」と言ったところでしょうか。つまり「満更でもなかった」なのですが、これには勤務地がサラリーマンの聖地と言われる東京新橋にあり、とりわけ烏森神社周辺の、いわゆる「烏森界限」がアフターファイブのホームグラウンドだったことが大きかったと思います。飲み方の作法から、常連の心得、人情の機微、更には生かされていることへの感謝に至るまで、実に多くのことを「烏森」が教えてくれたのです。

幾筋もある路地には多くの小振り、個性豊かな居酒屋が軒を並べ、各店の大将や女将さんは決まって頑固で人情家と来ており、店内は全国各地から集まったサラリーマンとお国言葉が溢れていました。私は高校まで県内の小さな町で育ち、大分に出てきた時に大きな町だと驚いたような田舎者でしたが、烏森の人情と包容力のお陰で、大都会の孤独からは無縁でいられました。数年前に大分にUターンしたのですが、今でもテレビのサラリーマンインタビューで新橋駅

6月の同期会が楽しみ

大学20回 濱津 勝司（長崎市）



前の機関車広場が映し出される度に懐かしくて胸が熱くなります。さすがに50年の間には馴染みだつた店の大半が店を閉め、町並みも時代とともに変わって来てはいますが、今でも烏森はサラリーマンの心のオアシスであり続けています。「新橋烏森夜間大学院」修士課程修了。履歴書には書けない私の最終学歴です。

ただし、気力と好奇心だけは失わずに新たななる挑戦に挑んでおります。一昨年、社長職は後継に譲りましたが、まだまだやりたいこともあり、現役を続け日々奮闘しております。社業の方は、本社を含め5部門で運営していますが、幸い順調に推移しております。本年5月にはアミュプラザ長崎の新店が決定しており、忙しい日々を過ごしています。今にして思うと、なぜ学生時代にもう少し学業に励まなかつたのかと少し悔やみます。簿記学は普通科卒にとつては大変に難題な分野でしたが、いざ実践の世界に入ると真つ先に必要に迫られる学問でした。早々に税務調査の洗礼を受け、その後法人化、顧問税理士の指導を受け、その後の税務調査ではすべて是認をいただきました。四極会活動では、たくさんの出会いをいただき、先輩の皆様には大変お世話になりました。幹事長、支部長と務めさせていただきました。一昨年退任いたしました。そしていつの間にか長老の仲間入りをしたしております。また12年前、約35年ぶりの還暦同期会に参加し、5年後には博多で2回目がありました。今回の100周年大会の前日に3回目が予定されており大変楽しみにしております。大分在住の仲間にはお手数をかけますこと心より感謝いたします。何年たとうとも、旧友に会うと一瞬にして数十年前にタイムスリップし、当時に戻れることをうれしく思います。最後に同期の皆様の弥栄を心より祈念いたします。

写真で見る
この50年

コロナは人と人を分断し地域を孤立させ心の空白を助長し経済を痛めつける。

考えさせられる生きていくうえで人生の豊かさとは。それはほかでもなく交流を通じて培われた人間関係そのものではないかと考えています。寮生間の絆が羨ましいです。あらためて我が身を振りかえれば、同期や諸先輩のご厚情に感謝の一言です。母校および四極会は母なる心の拠りどころで、同窓との交流が己を鍛えるうえでどれほど有意義であったか。私の拙文にかえて、特に誇らしく心暖まる大事な同窓諸氏の写真を紹介します。

人生100年、母校も100年、これからこれから。
大学20回 岩尾明(大分市)



なんといっても同期の桜。「還暦同期会」(平成22年5月 別府杉乃井ホテルで)



英語部 新入生歓迎コンパ (昭和43年7月)



武藤ゼミだよ全員集合 (昭和45年秋)



癒しの母校訪問



武藤ファミリーを囲む会

甦る大分での生活

大学20回 藤井芳（広島市）



のお母さん、ご子息夫婦、妹さんの皆さんで、朝晩の食事、風呂など賑やかで居心地のいい下宿先であった。

今から20年前の10月だったか（勤務先の社内旅行―別府・大分―の自由時間を見計らい）、正午近い時刻だったろうか、私は大分城址公園の堀沿いを平行に走っている家並みの道を歩いて、懐かしの建物に向かっていると、思いの場所は解体整理されたばかりで、そこに佇む夫婦連れの姿が。ご主人の方が私に気づかれ、私の名前を呼ばれた。その御夫婦は、私が学生時代に2年間お世話になった若夫婦（当時）であった。卒業して以来30年近くお会いしていなかったのに、私の名前だけでなく、就職先まで覚えていただいていた。感無量であった。当時、そこでは私以外に学友と社会人の2人がお世話になっていた下宿で、その家

もあり、そこには諸雑誌や朝日ジャーナルも置いてあったのだが、どういうわけか少年マガジンの「あしたのジョー」ビッグコミックの「ゴルゴ13」を読み漁っていた。

同時に利便性や環境もよく、目の前の城址公園前にあった図書館は、夏にはクーラーが気持ちよく聞いており、しばしば自習室に座っていた記憶がある。また、県庁近くには大衆食堂「繩のれん」や「小政」があって、サラーイマンたちが忙しく食事を掻き込んでいるそばで、「鯖の塩焼き・冷や奴」で満足していた。夜は夜で友からの誘いがある。下宿先からごく近くの大通り沿いに連なった屋台で「おやしさん、二級酒ちようだい」というと、店主が爛のついた酒をコップに注いでくれる。今にも溢れんばかりだ。手で持ち上げるのではなく、テーブルに置かれたままのコップに口から呑みにいき、「ブハツ」と満足した顔が今でも脳裏に焼き付いている。また、近くに喫茶店

のおばちゃんが、店内に置かれていた小袋入りのインスタントラーメンを作ってくれた。30円だ。目の前の一口ガスコンロにかけ、片手鍋でぐつぐつと煮るのだから、待ち遠しさも加わり嬉しさもピーク。他の寮生たちも辛抱強く順番待ちをしていた。

学生アルバイトにも熱心に取り組んだ。家庭教師の時は「一緒に食事でも」と言っていたが、緊張しながらご馳走にあやかっていた。また、同じ下宿先にいた会社員の方から市場調査の紹介を受けた。個別家庭訪問をしての聞き取り調査だった。当時は詰め襟の学生服姿で訪問していたせいか、好意的に対応していたが非常に助かった。この飛

込訪問の経験は、実社会に出たの営業職心得として大変いい体験学習になった。

その後、友人の下宿部屋で見たブラウン管テレビで生中継された《東大安田講堂陥落》は鮮烈だった。時計台に掲げられていた赤旗が日の丸にとって代わり、学生運動の終息へと向かった。

このように学生時代の思い出は枚挙にいとまがなく、学生の本文たる勉強についてのことを連綿と書くつもりで臨んでいたが、紙面もかなりオーバーしてきたので涙を呑んで筆を置きます。最後に、嗚呼、感謝！学び舎の恩師、職員の方々、そして学友達に、万謝の念に堪えません。

山本ゼミでの特訓

大学20回 中村二郎（神戸市）



昭和30年入学。学校近くのお宅に2年間下宿し、3年次より新寮に移りました。所属は水泳部、社会科学研究会、OR研究会、数理統計研究会、山本ゼミでした。

先輩から水着とバスタオルをもらい水泳部に入部しました。先輩方に恵まれた大人の雰囲気クラブでした。合宿中は語学以外の講義は欠席して、1日5〜6時間泳いでいました。

昭和43年から44年は大学紛争が盛んな時期で全学ストが度々あり休講続きでした。

そんな中、山本先生の書齋で工藤君と一緒に「資本論」の指導を受けました。社会科学研究会とのなれそめでした。先生から梅棹、川喜田の本を紹介され、工藤君と川喜田二郎「移動大学」のKJ法（京大芸術調査隊が使った野外学科の方法）実習に参加しました。KJ法を使って社研、ゼミ有志との共同作業で経済研究所の懸賞論文に応募し、3年次に2等、4年次に1等の受賞となりました。3年次のゼミはヒルファンディング「金融資本論」でした。

ゼミ大会で発表しました。4年時の書齋ゼミは馬場「株式会社金融論」、木村「減価償却論」でした。山本先生には4年間公私ともに大変お世話になりました。奥様の手作りのパンや鍋に呼ばれたことも

ありました。

OR研究会は釘宮先生紹介本を使用し、メンバーは榎木・首藤・広滝・工藤・中村でした。この会は理数統計研究会に発展して内野先生の指導で「線形計画と経済分析」の自主ゼミとなりました。寮で同室となった後輩の関君と「J・Mケインズの経済

鴻図寮のおかげ

大学20回 南保行（千葉県）



私は、昭和39年東京オリンピックの年には中学3年生で高校に進学出来るかどうか分からない時代でした。同級生がSLに乗って関西や東京方面に集団就職で出て行くのを、何度か見送ったものです。しかし、五輪前後から日本も高度成長期に移り、国民総中流時代と言われ始め、高校進学も現実になってきたもの

学」を、工藤君は後輩の秋田君らと「資本論」を読みました。半世紀前の懐かしい思い出です。

共に学んだ仲間達と故山本先生、故釘山先生、内野先生の学恩に感謝しています。創立百周年おめでとうございます。

です。農家出身の私もなんとか宇佐高校への進学は果たしましたが、その上の大学に行けるとは夢にも思っていませんでした。

親父からは成績が悪ければ、農家を継ぐか、大工か左官の丁稚奉公に行くしかない。それでも大学に進学するならば、浪人は無理で、たとえ行けたとしても学費は出せんぞと言われていたものです。高校の担任にそれなら奨学金を受けて合格すれば可能性があるのではと言われ、挑戦してみたところ成績と親の年収で審査される奨学金は、農家で年収が少なかったこともあ

り、有利に受けることが出来ました。こうして進学が目途が立ち、無事現役で大学合格し、奨学金ももらえることになりました。そういった状況で入ることになった鴻図寮は、3食部屋代込みで月3千円、授業料は月千円と今では考えられない程の費用でしたので、奨学金が月8千円あれば、あとは家庭教師やアルバイトをやりながら、親に面倒をかけずに勉学に励める環境でした。

当時の鴻図寮は木造二階建、



木造2階建だった鴻図寮

築約50年も経っていて、今の学生では到底住めるようなものはありませんでした。和室6畳に入寮時は3人で住み、厳しい寮生活で次第に退寮する者が増えて、数か月もすると2人部屋になってしまいました。

その後、上野丘から且野原に学部に移転ともに、現在の新しい寮に移りましたが、寮費3千円、授業料千円は据え置きされたおかげで、無事に卒業する目途が立ち、当時は好景気で学生は売り手市場だったため、団塊の世代の我々も無事に就職出来たものです。

当時はまだ農家では減多に大学に行くものではなく無理だと思っていきましたが、鴻図寮と授業料、それに奨学金のおかげで卒業出来たと思っています。親父からの進学条件も厳しいものでしたが、それでも年に1度位は現金書留で1万円が届き、親の有難味を感じたものです。

大学を卒業して丁度50年、総合商社に入り無事に勤め上げられたのも、大学時代の経験と寮生活のおかげだと思っています。

四極文芸

短歌

小山田 熙光 (別府市・大10)
年末にコロナ禍避けて集い来る

孫達は皆満面の笑み
広縁は春のぬくもり溢れども

今なお残る庭隅の雪
乗客は皆スマホ見て静かなり

車内アナウンスのみぞ聞こゆる
山邊 幹生 (大分市・大16)
背に弟左みやげで右は吾れ

里へ帰る母は鼻歌
ありたきは、五人だったと高笑い

九人の母の乳房は垂れて
危篤より還りし母の生き力
祖父の歩きし百才の道

清水 紘一郎 (大分市・大17)
高森 (熊本) や地取れ里芋外されぬ

伝統文化の「田楽」を継ぐ
生け贄を忘れた百舌はもう来ない

別の高鳴逃げる他の鳥
新しき手廻しミル挽きながら

朝飲薬横眼で睨む
次森 久雄 (大分市・大23)
拭えども泡が次々まとりつく

炭酸濃さかな七里田温泉
ぬるま湯も湯上り長く身はほてる

不思議なるかな炭酸泉は
秋晴れの久住高原の芒原
風にゆれつつ陽に光なり

俳句

和田こうせい(康生・大分市・大2)
幾山河支えし人と七種粥
崩落の嶺そのままに山眠る
カルデラの山色尽きて冬ざるる

首藤 健児(東京都練馬区・大3)
離職せり故郷の駅舎やすみれ草
春愁や噛み殺したる生欠草

コロナ禍やモール消燈春の星

柚崎 博(広島市・大5)
幾山河越へて二人の蝉時雨
二人して光となりて帰り花
バレンタインケーキに添へて董くる

利光 征四郎(大阪市・大11)
石山の風想い出す翁の忌
宿の灯りを映して光る薄氷
相席のうどん食堂春近し

湯浅 喬(大阪市・大11)
軍鶏の目の鋭き先は春疾風
窓過る影の迅さや冬野鳥
大根の重さを軒に萱の家

本多 廣 (大分市・大12)
 四極山 猿の温泉 絵にもなる
 春一番 スカートめくる 意地悪さ
 雪解けに 水車も弾む 里の春

野井 英雄 (伊予市・大14)
 大堀の鯉の弧を描く春来る
 夏の宵一軒残る赤提灯
 行く雲の影ゆるやかに秋の嶺

芋岡 勝一 (白杵市・大15)
 夏なつ破やぶ松籟しょういを聞く日和かな
 不規則に並ぶ足跡植田澄む
 遺跡巡りて黄葉山紅葉溪

小林 康祐 (さいたま市・大16)
 庭白し風蕭条と月冴ゆる
 風強し着ぶくれし人急ぎ足
 屍漸くに四温始まる時来る

清水 紘一郎 (大分市・大17)
 青葉あおば闇やみ赤翡翠あかひすいが待ちどろし
 麒麟草きりんそう黄色で群生ぐんせい自己主張じこじゆあう
 アマリリスあま赤あかと白しろと同居どうきよする

坂井 進 (広島市・大18)
 佳き人に逢うて別れて春の夢
 一病を梅に託して散歩かな
 転校の児に一片の忘れ雪

野田 初男 (広島市・大19)
 名月や古き団地の三千戸
 爽涼や竹林抜ける山歩き
 農園に手押しておしのポンプ冴返る

川 柳

城元 保昭 (大分市・大7)
 平均寿命延びて人生長い旅
 老いるほど人の情けが身に沁みる
 巣ごもりの暮らしに慣れて認知症

山本 新一 (福岡・桂川町・大8)
 花の差のレースを語る首の汗
 杖よりも心の通う盲導犬
 ポチだけが迎えてくれる千鳥足

清水 紘一郎 (大分市・大17)
 SDGsせいかいひょうじゆんごもはや世界の標準語
 坂道さかみちを登るポチにも老いがみえ
 意地いじつ張り杖つえを持たずにリハビリへ

漢 詩

祝経済学部創立百周年式典
 森田 元久 (東京都・経専23)

習習薰風新緑天 習習たる薰風新緑の天
 同窓賓客会芳筵 同窓賓客芳筵に会す
 幾多人傑英才出 幾多の人傑英才出で
 奎運けいりん隆隆祝百年 奎運けいりん隆隆百年を祝す



25

四極会の前事務局長

柴田 宏二氏 (大17)



たので引継ぎのないまま仕事に就きました。急でしたが、パソコンの保存文書と書類をひっくり返しながら処理をしたのが懐かしい。

一般財団法人ですから手続き、会議等不備がないよう気を使いました。

1 四極会事務局に勤めて何年になりますか。
平成28年6月から四極会にお世話になりましたので6年目になります。

もう年齢的にも常勤的な仕事は卒業したと思っていました。

2 その間に特に印象に残ることは何でしょうか。
前任者が体調を壊し不在でし

実行委員会が発足し、4つの小委員会を中心に記念事業の骨格を構築していきました。まさに100周年記念事業運動の真ただ中に飛びこみました。

3 100周年への準備に携わって大変だったことを教えてください。

初めての業務でしたが、いろいろな会議の運営を任せられたのでやりがいがありました。今回の100周年事業は今までの周年行事を越え、石川会長の指導のもと、経済学部と四極会が共同で取り組みをしました。したがって、会議は全て四極会の委員と大学の委員で構成され、大学で行うことも多く経済学部の事務長さんにお世話になりました。小委員会を含め会議が多く、小委員長さんの指示、協力のもと、かんかん譁々の議論を行いました。

また、会長と各支部を訪問して、この共同設置の趣旨を説明し、100周年の意義の理解を頂き協力を依頼しました。支部長からも100周年事業の要望を聞き、意見を多数提案頂きました。

100周年記念事業実行委員会はいままで11回開催しました。その中で特に100周年事業に何を残すのか、何をするか詰めの会議をしました。事業の資金集めの記念募金をお願いする中で、この資金は何に使うのかという意見が多かったですね。会長、実行委員長の強い指導のもと、100周年は大きな節目であり、レガシーを残す、また次につながる100周年にするというコンセプトで記念事業が組成出来ました。

四極120号の臨時号で紹介しましたが、100周年にふさわしい記念事業になったと思っています。

4 石川会長とは二人三脚で大変順調のように見えましたか。どうでしたか。

会長とは初めてでしたが、多忙な方でしたので、心がけたのは報告、連絡を早くすることでした。うまくいかないこともありました。会長は行動派です。決めたら実行するということは参考になりました。支部訪問によく随行しました。朝が早いとか、交通の便が悪いとか構わず会長が行動しますから随行しました。久大線の不通の時は高速バス、日豊線が不通のときは長距離バスで宮崎とか訪問しましたね。

新型コロナが発生するまでは支部総会があれば必ず会長と訪問した。おかげで支部の重鎮の先輩にもお会いでき、支部の雰囲気、支部長さんとも交流が出来る、四極会の歴史を体感しました。感謝しています。5年間があつと云う間でした。事務局長として職務をポジティブに全うしていくことを心掛けました。

5 会報四極の編集にも長年にわたってご苦労いただきましたが感想をお聞かせください。

広報関係は一番不得手でしたが、年間2回の発行を、充実した編集委員がおり、そんなに苦労した記憶はありません。編集用の構成表があり項目に沿って帆足編集長が的確に編集委員に指示をだし見事にまとめてくれました。原稿の募集にも委員が協議をし、原稿の依頼、校正をしましたね。編集長の卓越した編集力を目の当たりにしてやりがいがありました。特に100周年記念号は後世に残す出来栄えと思えます。記事が不足すれば編集長が直接依頼し、見出しをつけ、指示頂きました。毎回素晴らしい会報は編集長、編集委員、印刷の三恵印刷のおかげです。

交流のある同窓会からも賛辞を頂いています

コッコッ…百周年を支えて

6 ゴルフや魚釣りと趣味が広いと聞いていますが、近況を聞かせてください。

遊び事は好きです。下手ですが、誘いがあれば参加する姿勢です。楽しむゴルフです。17回生同期では毎年全国有名ゴルフ場で例会をしています。同期の中でピンピンコロリを共有しながら、いつまで出来るかなとお互い確認する事を目的としています。

釣りはほぼ毎月行っています。船釣りで。

7 最後に100周年に向けて一言お願いいたします。

創立100周年が目前に迫っ

てきました。100周年のこの時にこの事業に立ち会えたことを幸運と理解し、100周年を計画に沿って全力をもって仕上げたい。実行委員会での全委員の情報共有と協力が欠かせない。

事務局を経験して、若い会員が四極会から離れているのが心配です。100周年の歴史、記念事業の重みが必ずしも全会員が感じていないのではないかと、100周年で培ったエネルギーを次の時代に向けて、本部と支部の継続的組織づくりにいかにかかすかが今後の課題と思います。また財務の健全化も課題です。

四極会本部常務理事兼事務局長

荒川 孝二氏 (大26)



1 生粋の大分っ子と伺いましたが、

父親の出身は福岡県八女市ですが、生まれは大分市です。荷

遊んでいました。

2 経済学部時代はいかがでしたか。

経済学というより社会思想史に興味があり、羽倉ゼミ(社会学)に入りました。講義には比較的真面目に出席していましたし、サークル活動は「ユネスコ」に所属していました。思学会の役員も経験しました。父親が早くに他界したこともあり、休日や夜は家庭教師を何件か掛け持ちして学費(遊ぶお金?)を稼いでいました。

お金がなかったはずなのに、なぜかトヨタのセリカを買って通学していました。

3 大分県庁での36年間をお聞かせください。

総務、企画、生活環境、商工労働、福祉、土木建築など様々な部局を経験しましたが、生活環境部が一番長く11年間在籍しました。ごみゼロおおい推進室、地球環境対策課の初代室長、課長を務め、折しも地球温暖化対策を自治体でも取り組み始めた時期でもあり、二酸化炭素の排出権取引を自治体として

初めて実施したことなどが記憶に残っています。

4 100周年が間近に迫りました。事務局長として大変だと思えますが、心境はどんなものでしょうか。

100周年に対する思いは、高商、経専、大学世代、また上野丘、旦の原世代でも異なっていると思います。さらに、コロナ禍というこれまで経験したことのない状況の中で準備を進めなければなりません。

事務方としては、令和という新しい時代の中で100周年はどうあるべきかということ念頭に、経済学部と連携しながら肅々と準備を進めています。

5 100周年の記念事業は順調ですか。

コロナの影響でトップゼミナリーの延期などがありました。黒土始記念講堂や記念公園の整備、100周年記念碑や上野丘にある門柱のレプリカ建立などが着実に事業を進めています。

現在は6月25日の記念式典、記念講演会、記念祝賀会を中心

としたイベントの準備を進めています。

コロナ感染の状況にもよりますが、何とか終息に向かい多くの同窓生の皆さんのご参加をいた、たく中で記念式典を迎えられるよう願っています。

6 今後、四極会はどうあるべきか、荒川さんのお考えを...

先ほども述べましたが、同窓会に対する思いは世代によって異なります。まずは、それぞれの世代が同窓会に対して求めているものを考える必要があります。

交流の場を求めているリタイア世代、異業種間の交流や情報提供を求める現役世代に対して同窓会は「なにができるのか」を考える必要があります。また、学生に対しては、進路決定に当たって必要な企業情報の提供はもちろんのこと、学業を続けていくための支援などにも経済学部と連携しながら対応していく必要があります。女性会員の比率が増加する中で、同窓会の役割も変化していくと思います。

価値観が多様化する中で「人とのつながりを持ちたくない」という声をよく聞きますが、その声にどう同窓会が答えていくのか私自身も日々考えています。

行政マン...期待される手腕

弔辞 — 田原榮一先生を悼む



故 田原 榮一 氏

大学16回 衛藤 卓也 (大分市)

大分大学経済学部教授として長年ご尽力された田原榮一先生が、昨年(令和3年)10月ご逝去されました。どうか安らかにお眠り下さるよう、お祈り申し上げます。

田原先生のゼミを履修(昭和41年4月〜43年3月までの2年間)しました関係から、先生の活動歴の一端と、人と人とのつながりについて、回想の一助とさせていただきます。

先生は、福岡県飯塚市のご出身で嘉穂高校を卒業され、大分大学経済学部に入學、卒業後、神戸大学大学院に進学されました。大学院修了後に大分大学経済学部へ赴任され、以後、長年にわたり教育・研究に邁進して来られました。大分大学時代には、大分・九州地域の学外専門会議や委員会の会長・委員長として政策策定に寄与され、地域にとつて無くてはならない存在として大きな足跡を残されました。

先生のご専門は交通経済論・

きました。恩師の田原先生は、非常にアクティブで、行動力溢れるダイナミックな方でした。先生は、多くの日本語・外国語の著書・論文を読みこなし、参考にしながら継続的に学術論文を執筆されていきました。さらに、国や地方自治体からの依頼で、学外の研究調査活動にも深く関与され、会長・委員長として多くの調査報告書の作成にも寄与されてきました。私は、昭和49年3月、神戸大学大学院博士課程を修了したあと、4月から福岡大学商学部の専任講師として赴任しました。これも、当時、福岡大学の非常勤講師として招かれていた田原先生のご尽力のおかげで、九州に戻る事ができ、今日あるのも先生のお蔭だと深く感謝するばかりです。先生にはいろいろな面で大変お世話になりました。ここに、先生のお姿をしのびながら、深く哀悼の意を表し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

報告や昔のよもやま話を元気に語られていました。奥様を交えての楽しいひと時を思い出します。飯塚訪問ツアーはこれを含め計4回実施。大分在住の栄交会のメンバーを中心に毎回8名ほどが参加し、先生の案内で飯塚市内観光、夜の懇親会等を楽しんでものです。訪問の度に新飯塚駅に迎えに来ていただき、自宅まで先生と一緒に歩いて行った事が懐かしく思い出されます。(栄交会とは田原ゼミ出身者で作る親睦会で、先生の名前・栄一の「栄」と交通論の「交」をとって「栄交会」と名付けられた会である)

平成8年2月の大分大学退官記念パーティ、平成14年5月の古希を祝う会、平成18年10月の九州産業大学退官記念祝賀会、平成23年7月の叙勲祝賀会、その間、開催された数度の栄交会等が思い出され、楽しさと懐かしさ同時に一層の寂しさを感じます。

ゼミ、栄交会等を通じ50年以上の先生との交流を通じて、恩師としてまた人生の先輩として多くのことを学ばせていただきました。お人柄は寛大且つ誠実で、常に前向きに積極的に行動される先生でした。そして何より面倒見が良いと思います。ゼミ生の就職のお世話、結婚式の仲人、お世話になった方も多いと聞きます。私もその一人です。大学の研究室で研究に打ち込むだけでなく、自ら社会に出て、

会社のトップの方々と情報交換をされていきました。私が勤務していた地元百貨店に度々来店され、会長や社長と会い、その都度、私を激励してくれました。また飯塚訪問や祝賀会の開催終了後、世話になった方々に直ちに直筆のお礼の手紙を出されていきました。私もいただき、その度に感謝感激していました。すぐにお礼の手紙をしたためる大切さを教えていただきました。また先生は事あるごとに「ゼミ生は私の大切な財産である」とおっしゃり、ゼミ生を大切に思い、気にかけてくれていました。

そして先生は母校教官として、同窓会「四極会」活動にも積極的でした。「歴代の名会長のご指導のもとに、幹事、常任理事を長年にわたって経験してきました。その間、全国理事会、各地の支部総会や同期会を通じて色々な同窓生の方々と知り合いになり、多くのことを学ぶとともに、学生の就職活動など大変お世話になりました。」と(四極会)とともに四十年・退官記念記録集で先生は述懐されています。その母校が今年で創立100周年を迎えます。先生と一緒に祝う事ができないのが、とても残念です。

また機会があれば、栄交会の方々と飯塚を訪問し、奥様と先生の思い出を語りたいと思います。先生、長い間お世話になりました。ありがとうございます。

4回の飯塚訪問ツアー

大学18回 松井 一博 (大分市)

令和3年10月8日、田原榮一先生の訃報が届いた。驚きと寂寥感・喪失感がいまだに消えない。この数年間はお見舞いにも

行けず、最後にお会いしたのは確か平成29年6月の飯塚訪問ツアーだったと思います。大石政臣(大学14回)栄交会会長他六名で先生宅を訪問した際、近況

黒土さんもオンラインで講義へ

会社研究 100周年記念を応援

令和4年度(2022年度) 四極会寄附講義「会社研究」実施予定表

開講時限：前期/水曜日3限(13時10分～14時40分)
講義室 202号教室

回	講義日	企業・団体名	役職	講師
1	4月13日	グッド・P	代表	佐藤 安洋
2	4月20日	(株) 美装管理	代表取締役	高野 浩子
3	4月27日	合同会社豊後大野まちむすび	代表	安藤 達哉
4	5月11日	大分銀行	常務執行役員・別府支店長	甲斐 一義
5	5月18日	大分みらい信用金庫	理事長	森田 展弘
6	5月25日	竹田市	市長	土居 昌弘
7	6月1日	元三菱ケミカル(株) 常務執行役員	東京四極会会長	奥川 隆生
8	6月8日	三浦造船所	社長	三浦 唯秀
9	6月15日	(株) テレビ大分	代表取締役社長	池邊 強
10	6月22日	第一交通産業	会長	黒土 始
		四極会	会長代行	三浦 洋一
11	6月29日	三井金属鉱業	事業創造本部総合研究所	花田 歩美
12	7月6日	音色香の季 合歓のはな	支配人	細元 啓一郎
13	7月13日	オンラインサロン「働き方ラボ」	代表	西久 保潤
14	7月20日	テーマパーク運営会社	システムエンジニア	今森 由香里
15	7月27日	豊後企画集団	上野の森口店長 / 光吉店長	松浦 夏樹 松川 陽樹

四極会ホームページは日々内容を新たに、会員の皆様への情報発信に努めています。「四極会とは」に始まって、「本部ニュース」、「支部のページ」、「会報」、「会員名簿」など、四極会のことは何でもわかるホームページを目指しています。例えば会報のページでは、「四極」の他、大学院修了者の会報「青雲」、各支部の会報が発行される都度、すべてを掲載します。これらに目を通すだけで四極会活動の雰囲気を感じる事が出来るかと思えます。

「支部のページ」では、支部別のページを用意して、各支部が独自のホームページを持つているかのような利用も可能です。

「会員異動報告」のコーナーからは、会員の住所や勤務先の変更を直接四極会に送信していただくことができます。

ホームページは利用者によって成長します。閲覧と情報提供の両面で皆様のご活用をお願いいたします。スマホから閲覧する場合はこのQRコードを利用してください。ありがとうございます。



ホームページが
面白い！



四極会ホームページ URL
<https://www.shiwasukai.com>

格調高く第8回自遊展

式典会場1階で開催

100周年記念式典に併せて iichiko 総合文化センターのアトリウムプラザで開催。

芸術文化祭自遊展は大分支部の親睦事業として平成27年度から毎年開催してきました。仕事を辞めた後に、あるいは仕事をしながら趣味の世界を楽しんでいる同窓生はたくさんいます。自遊展は、その成果を広く同窓生や市民に披露するために始まりました。上手な人もあまり自信のない人も、他の人に見てもらう機会は大切です。出品者にとって貴重な発表の場になると

ともに、異なるジャンルの人の興味はあるけれど実践には至っていない人との間に交流が生まれ、四極会員の文化度を上げることにも貢献してきました。

本年は100周年記念事業実行委員会が直轄する100周年記念事業の一環として全国の会員に出品を募り、大規模に実施します。既に各地で頑張る多くの四極文化人から出品のお申込みをいただいています。洋画、版画、写真、書籍といったジャンルに初出品の会員がいまます。100周年を祝う漢詩を作って出してくれる会員もいま



場所 **アートプラザ ギャラリーA** 観覧無料
10月4日(月)~10日(日) 9:30~17:00

絵画 版画 水墨画 切り絵 写真 書 川柳 短歌 俳句 書籍 木彫 陶芸 漆器 映像
○主催/大分大学経済学部同窓会(四極会 大分支部)
○共催/大分県民芸術文化祭実行委員会
○後援/NPO法人大分県芸術・大分県教育委員会
大分合同新聞社・CBS大分放送・TOSテレビ大分・OAB大分朝日放送

前回の自遊展のポスター



す。一部現役学生サークルからの出品もあります。掲示作業や受付は出品者が分担。俳句、川柳、短歌については会員の書家(木山広喜さん、安東政義さん)が和紙に清書し、掛軸への装丁は出品者自らが共同作業で行うという四極会員手作りの展示会です。

6月25日の記念式典に参加される方は、会場の1階で開催中の自遊展をぜひご覧いただき、同窓生の趣味の世界を覗いてください。四極会員の力作がお待ちしています。

会場 大分市高砂町
iichiko 総合文化センター1F アトリウムプラザ
会期 令和4年6月22日(水)~26日(日)
ジャンル 日本画、洋画、水墨画、版画、切り絵、写真、書、川柳、短歌、俳句、能面、木彫、陶芸、書籍、映像

お問合せ 四極会事務局
電話097153812462

図書紹介

◆ 柚崎 博氏(大5)より
証言〜紙屋町を創った男巨大グループ・そごうの栄枯盛衰を見届けた筆者の「証言」



◆ 石川 公一氏(大13)より

自治体職員心得箇条々事例に学ぶ
地方行政42の論点
42の事例から考える自治体職員としてのこれからの「在り方」



経済学部

297名が巣立つ 9名の大学院生が修了

令和3年度の大分大学卒業式・学位授与式が令和4年3月24日、大分市のichiko総合文化センターのグランシアタで挙行されました。5つの学部から1314名の学生、大学院生が巣立っていきました。北野正剛学長が各学部、大学院の代表に卒業証書を手渡し、時代の変化に対応して未来を築いてくださいと、はなむけの言葉を贈られました。全体の式後、経済学部は隣接するホテル日航大分オアシス

石川会長が四極会長賞を授与

タワーの孔雀の間に会場を移して卒業記念式典を開催しました。経済学部では297名の学生が卒業、9名の大学院生が修了しました。

長賞が授与されました。会長賞が授与されたのは次の24名です。

①二宮直己

高見博之経済学部長の挨拶、学部長表彰に続き、四極会の石川公一会長から四極会

【経済学検定試験「EREMIX ロ・マクロ」及び「TOEIC」で優秀な成績】



石川会長から四極会長賞を授与される
二宮 直己 さん

②(大井ゼミ その1、6名)

岡 将平、笠原義明、河野 泉、佐伯琉圭、友田龍太郎、濱渦蓮

【日本モビリティ・マネジメント会議におけるJCOM Mポスター賞を受賞】

③(大井ゼミ その2、6名)

尾本悠樹、俣田紀佳、後藤 孝祐、佐藤芹香、中島優斗、福田真咲

【産学官連携のプロジェクトで社会に貢献する研究成果】

④(渡邊ゼミ 11名)

江川未紗、黒田一樹、古権 正暉、酒井菜々子、日高航平、平尾恰士、村松樹、薬師寺あかり、山崎桜生、力武愛野花、渡邊菜々美

和服姿の女性たちで

華やかな雰囲気にとに集まり、学生はゼミごとに集まり、それぞれゼミの先生から卒業証書を受け取りました。今回も出席は卒業生のみで飲食もなく簡素に行われましたが、和服姿の女性たちで会場は華やかな雰囲気になりました。



渡邊ゼミの卒業生たち



大井ゼミの卒業生たち

次の100年に 新たな誓い

入学式

令和4年4月4日、令和4年度大分大学入学式がiichiko総合文化センターのグラシアタで挙行されました。5学部の学部入学生1082名、学部編入者26名、大学院230名の合計1338名が晴れて大分

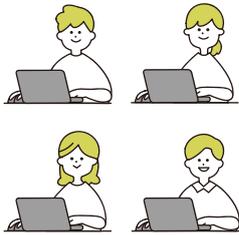


100周年の年に入学した 1,338名の学生

大学生となりました。このうち経済学部は学部入学生292名編入者10名、大学院14名の合わせて合計316名でした。
式は国歌・学歌演奏で始まり、北野正剛学長から代表に入学許可が伝えられたのを受け、学部、修士課程、専門職学位課程、博士課程のそれぞれの代表者が宣誓を行いました。
学長は告示で二つの点を強調

されました。一つは、この4月から成年年齢が18歳に引き下げられたことを踏まえ、今日からは成人としての自覚を持つということ。特に喫煙による健康被害に留意するようにと。二つめは、学生の間に自分の生き方を見つけよ、意欲的な学生生活を送り、社会に出て大きな花を咲かせよということでした。
式への出席は入学生のみ、それも一人おきの着席にしたため広いグラシアタにも入りきれず、大学院生等は音の泉ホールでのスクリーン視聴となりました。入学生は全員黒や紺のスーツに身を包み、緊張した面持ちで肅然と参加していました。

またまた オンライン 授業



経済学部のオンライン授業

新型コロナウイルスの感染拡大は、大学の授業のあり方にも大きな影響を与えました。この2年間、大分大学では、感染状況に応じて、原則オンライン授業の期間、原則対面授業の期間があり、学期中に方針が変わることもありました。直

近の令和3年度後期は、10月中旬以降、感染予防策を実施することが可能な授業は対面形式で、受講生が多い等理由で感染予防策を実施することが困難な授業やオンライン形式の方が教育効果の高い授業については、オンライン形式やハイブリッド形式（対面での出席も可）という方針でしたが、オミクロン株による感染拡大を受け、1月中旬以降は、原則オンライン授業となりました。ただ、この期間

中も、経済学部では、ゼミや卒業指導等において担当教員が不可欠と判断した場合には、対面授業も可とすることで、各授業で理想的な教育環境が確保できるように努めてきました。

オンライン授業に対する学生の反応は様々ですが、良い点として、授業を受ける場所

を自分で選べる、自分のペースで学習ができる、良い点として、レポート等の課題が多い、友人と一緒に受けられず寂しいなどの声が聞かれます。
4月中旬からは原則対面授業を実施しています。学生も生き生きしてきました。経済学部としては、授業の実施形態にかかわらず、学生が本学部で学ぶ意義や価値を見出し、自信をもって卒業し社会で活躍できるように尽力するという方針に変わりはありません。

経済学部学生生活委員長
青野 篤



1年生向け基礎セミナーでのオンライン授業

大54 荒木 英幸 50	大28 松村 亮司 10	大19 植木 庸雄 10	大09 坂本 哲男 10
大58 堤 有花 10	大28 中村 恭治 10	大20 白土 英明 10	大10 藤本 英幸 10
大59 富安大二郎 10	大28 宮本 孝則 50	大20 佐藤 彰 10	大10 小野 晴章 10
大61 中村 瞭 10	大29 田中 博也 10	大20 江崎 博幸 10	大10 佐藤 保夫 10
大62 島 貴史 10	大29 池田 勝 10	大20 米村 久 10	大10 高森 鳴實 10
大63 讃岐 亮大 10	大29 町頭 禎之 10	大20 宮崎 政利 30	大10 松井 長英 10
大65 山口 希 10	大29 樋口 義明 10	大21 正池 伯明 10	大10 末竹 久範 10
大66 江口 茉優 10	大29 廣津留浩治 10	大21 西 一成 10	大11 比江島勇藏 10
大67 河野 真也 10	大30 和田 啓 30	大21 宇都宮鉄男 100	大11 湯浅 喬 10
大67 岩下 昌樹 10	大30 加納 照久 10	大21 上田 泰裕 10	大11 首藤 義明 10
大67 森永夕里花 10	大30 金馬 弘明 30	大21 安部 正則 10	大11 利光征四郎 10
大67 成松 直幸 50	大31 高木 勇人 10	大21 信原 眞治 10	大11 高山 哲男 50
大68 荒木 慎司 10	大31 山崎 敦夫 4	大21 姫野 則雄 10	大12 三浦 英樹 10
院18 佐藤 恵二 50	大32 山本 雅典 10	大22 森 常喜 10	大12 広井 洋介 20
院19 梶原 康弘 10	大32 嶋田 貴介 10	大23 佐藤 俊美 10	大13 今川 博之 10
院19 城 敏徳 10	大33 白水 順一 10	大23 三浦 辰義 10	大13 友永 英一 30
院22 佐藤 純也 100	大33 隈田 英樹 100	大23 武谷 宏 10	大13 工藤 郁也 20
院24 衛藤 純司 10	大33 百雲 幸治 10	大23 柏木 英雄 30	大14 日高 巖 10
院25 二宮 基陽 10	大33 甲斐 幸二 10	大23 山形 憲昭 20	大14 藤浪 勲 10
院27 農木 秀二 10	大33 小寺 康生 10	大23 岩尾 京子 10	大14 羽田野弑男 20
院28 玉ノ井瑞穂 10	大34 後藤 敏敬 10	大23 立川 政道 10	大14 田所 壮介 10
院33 高倉 康佑 10	大34 高野 浩子 400	大23 村本 清文 10	大14 薬師寺和雄 10
院37 佐藤 裕哲 10	大34 安藤 徹 20	大23 佐々木紀昭 10	大14 平井 丈夫 10
大39 綾部 祐幸 10	大36 足立 竜二 10	大23 下田 辰巳 20	大14 安部 直敏 10
博09 田中 一旭 100	大38 鈴木 俊彦 10	大23 高橋 直義 10	大14 加藤 英彦 10
大分県庁支部 50	大38 箭川亜紀子 10	大23 皆見喜一郎 10	大14 田邊 悦孝 10
東京四極会 3,960	大38 松田陽一郎 10	大24 木許 健 20	大15 河上 博文 210
旧熊本城南支部 27	大39 弘中 秀治 10	大24 渡邊 秀一 10	大15 山口三四朗 10
ジェイリース支部 30	大39 河内 重之 10	大24 黒田 孝二 10	大15 篠原 利夫 10
	大40 西村 義宏 10	大24 小野 善教 10	大16 吉迫 利英 10
職域支部・団体等の 明細は割愛しています。	大40 岩木 幹彦 10	大24 渡辺 未己 20	大16 平林 浩一 10
	大40 木村 靖 10	大24 川村 常雄 10	大16 平田 利昭 10
	大41 足立 佳代 10	大24 大戸 雄治 20	大16 中村 俊治 10
大分大学への寄付者	大41 初瀬 克己 123	大24 斎藤 克己 80	大16 杉浦 三郎 10
卒業回 氏名/団体 金額	大42 森 正行 10	大25 高野畑峯利 10	大17 星野 正次 10
法人 西日本土木(株)	大43 吉田 茂 10	大25 松本 均 50	大18 安東 滋 10
法人 關フォレストホールディングス	大44 福田 真 10	大26 後藤 肇 10	大18 石川 亨 10
法人 大分文教産業(株)	大45 田中 晋治 10	大27 中村 憲治 10	大18 林 賢治 10
法人 (株) 大 宣	大45 山下 和敬 10	大27 内田 博昭 10	大18 矢野 眞治 10
法人 野村証券(株)大分支店	大45 田崎 薫 10	大27 梅木 春美 10	大18 油野 昇一 10
大19 長峰 清明 250	大46 吉原 勇二 10	大27 森本 昌章 10	大19 深見 光春 10
	大46 西口 洋一 10	大27 弓削 宏 30	大19 浦崎 眞治 10
	大48 佐藤 元宏 10	大27 小野 加織 30	大19 小笠原憲一 20
	大49 奥山 文規 10	大27 岡崎はつみ 10	大19 宮原 文雄 10
	大52 甲斐 久恵 10	大28 岐部 博文 30	大19 中山 敬三 100



令和3年10月1日
令和4年3月31日

卒業回	氏名/団体	金額
高19	故高橋孝士	10
大02	山木 大	10
大03	小幡 郭	10
大04	阿部 弘	10
大04	西野 和夫	20
大05	山川 昌宏	10
大06	門上 俊夫	10
大07	杉本 直也	10
大07	廣岡 敏正	10
大08	平塚 喬	10
大08	松永 政弘	10
大08	三羽利三郎	10
大09	林 大四郎	10
大09	安東 晴男	10
大09	萱島 哲雄	10
大09	野村 正剛	10

「塞翁が馬」の如く

名古屋支部 矢野 昭敏(大13)

②



会社が倒産して1か月後、日本海海戦の連合艦隊の旗艦「三笠」を社名にしたシステムコンサルティング会社(創立記念日5月27日)を設立し再起しました。そのとき隣市にある中小企業が息子の帝王教育のためスリランカに窯業原料生産会社を完成させ社員も100名採用していたが、本業が忙しくなり技術部長の息子の派遣をあきらめ、経営と英語ができる現地駐在社長を募集していました。倒産経験が気に入られ採用されましたが、ここでの2年間はまさに異次元の体験でした。会社には英語が話せるスタッフ社員には仏教徒とイスラム教徒がいました。工場従業員はシ

ンハラ語しか話せない仏教徒でした。大卒は品質管理担当の1名しかいませんでした。海外にある日系企業らしく毎日朝礼をやりました。まず私が英語で話し仏教徒のスタッフがシンハラ語に通訳しました。最初の訓示は「工場には裸足で入るな。せめてスリッパを履け」だったと記憶しています。宿舎はバス・トイレ付きで工場内にあり、食事・掃除・洗濯を社員のメイドがやってくれますが、3食カレー味は勘弁して欲しくて夕食は自炊しました。郵送す

ると途中で抜き取られる恐れがあるので、調味料や乾物は50kgの手荷物を飛行機に持ち込んで持参しました。機内持ち込みもオーバーをCAに注意されたことも何回かありました。機内預かりになります。持ち込んでしまえばこっちのものです。余談ですが何回も搭乗しマイレージがたまったせいかビジネス席にアップグレードしてもらったこともありました。アップグレードのテクニクとしてはもう一つあります。ダンス教室のツアーでキューバに行つたとき、ハバナ↓トロント便に搭乗するときオーバリーブッキングのため女性の先生とその息子が別便に分けられた時、これはチャンスだと早速力ウンターに「3歳の子供と母親を別便にするの？」とやさしくクレームをつけ、私を含めて3人をビジネス席に移してもらいました。お米は本社から工場を使う資材と一緒に送ってくれました。一番よく作つたのが「寿



司太郎」を使つた五目寿司でした。地方事務所の女性所長をディナーに招待したときに出したらとても喜んでいました。ただしそのとき使つた炊飯器を見つけれられ次回の土産に要求されました。社会主義国では上手に賄賂を使うことが優秀な駐在員の役割です。ある休日に警備員からすぐ来てくれとの呼び出しがあり門まで行つてみると、ジブシーの少年が「ゴブラショウ」をやるので100ルピー(1500円)出してくれと言われました。20人くらいの村人が集まつていましたが、お金を出したのは私だけでした。このお金で少年の家族1週間

分の食費が賄えるそうです。会社の製品が窯業原料なので採掘のため工場はジャングルの近くにあり、半径30km以内に住んでいるのは30km先にある納品先の日本陶器スリランカ工場にいる9人の日本人駐在員だけでした。まさにテレビ番組にある「こんなところに住んでいる日本人」そのものと言われるくらいド田舎でした。スリランカは象の国で、あちこちで家畜の象だけでなく野生の象に遭遇します。私も直前を横切られて肝を冷やしたことが数回ありました。ある朝工場に行くときスタッフから「今朝、前の道路で野生の象が定期バスに突つ込み運転手が12針縫つたハハハ」とか、「近くのガソリンスタンドで象が暴れてスタンドを全部倒してしまつた」などと言う話はよく聞きました。また、鉱区を広げるには政府の許可が必要ですが、地元事務所から「これから先は象の通り道なので掘つてはいけない」などとイヤモンを付けられるなど象に関する話はよくありました。

スリランカは社会主義の国なので公務員が賄賂を取るのには公然の秘密です。今は中国に抜かれたが当時はスリランカへのODAは日本が最大でした。地元民が「日本橋」とか「さくら橋」などと言う橋があります。「その橋の幅はもと幅10mのはずだったが

スリランカは象の国

欧米から観光客が殺到

リゾート満喫・ダイビングも最高!

右側1mはA議員、左側1mはB議員が食べちゃったので8mしかない」と言う話を聞いたことがあります。民間人でも当たり前で、社員の一番担当したい部署は購買部です。リピートが一番取れるからです。会社の運転手もスタンドの店員と共謀してガソリン代をごまかします。英国の植民地だった名残りで10時と3時にティータイムがあるが、砂糖の購入伝票が頻繁に来るのでちよつと計算してみたらなんと一人一日の消費量が50g、いくら甘党のスリランカ人でもおかしいと思つて観察してみると、半分は家庭で使うため持ち帰っていました。金額はたいしたことではなかったのですが、福利厚生費だと思つて目をつぶっておきました。何でも目くじらを立てるのではなく片目をつぶることも海外駐在には必要なことだと思います。

役所への申請と買い物のため月に1度くらい150kmしか離れていないコロンポに5時間かけて通いました。走っている車は99%日本車のマニュアル車です。スリランカでは上位の座席は助手席なので運転振りを見ていると平地

でも3速どまり。燃費節約のため4速にせよと言うと、一旦はするけれどいつの間にか3速に戻っていました。道路は幹線でも片側一車線で車のほか荷車や象まで歩いているので、これらを追い越すには急加速のため3速は必要だということの後でわかりました。また対向車が曲がりもしないのに頻繁にウインカーを出しますが、これは前に車が Continuing から追越しは無理だという警告のローカルマナーです。道路沿いにはトロピカルフルーツの屋台が並んでいます。パイナップルを栽培して



いる村の沿線では苾まで食べることでできる大きなパイナップルが1個50〜100円で売られています。試食をしてから買いましたがその分の代金もガツチリ請求されました。本当かどうか解りませんが宗教戒律の厳しい国なので、未婚の女性の中絶はアウトなので、親が娘にパイナップルを食べさせ流産させるそうです。日本に帰ったら、若い女性に新婚旅行で南のリゾートに行つてもハネムーンベビーを守るため、パイナップルを食べ過ぎないように注意してあげなさいと言われました。スリランカは7割が仏教徒の国なので仏教にまつわる休日が多くあります。太陰暦を使用しているためポヤデーと言うお祭りが30日毎にあり、年に数回は大きな寺院で市のたつような祭りがあり住民はおめかししてトラックやトラクターに鈴なりで出かけます。最大の祭りは7月・8月にかけて開催される仏齒祭(ペラヘラ祭)です。仏教界ではお釈迦様の歯が一番尊くスリランカで一番大きな寺院は仏齒寺と呼ばれています。祭りでは仏齒を背負った巨象を中心に

100頭余りの象のパレードがあります。沿道は歩けないくらい混雑して危険なので外国人は通りに面した高級ホテルの2階から見物します。欧米からも多くの観光客が来ます。スリランカの近くには新婚旅行で人気のリゾートであるモルディブがあります。1200近い島がある人が住んでるのは200あまりで、そのうち150はリゾートのある島です。1島1リゾートで1周30分で歩ける小さい島もあります。趣味の一つがダイビングなので、100本以上海外で潜つた経験のある私にとつては、コロンポから1時間、エコノミークラスで往復12000円で行けるのはまさに「猫に鯉節」状態で駐在中に5回行きまし

た。決して高級ホテルばかりではなく1泊80000円の部屋もあり、ブーゲンビリアの咲くリゾートを満喫し、ダイビング仲間羨ましがられています。スリランカは九州くらいの島国ですが、8つの世界遺産があります。そのうち7つの遺産を見物しました。スリランカツアーのガイドができません。大半は旧王朝の遺跡ですが、リゾートとして楽しめるのは紅茶の産地ヌワラエリヤです。熱帯に位置しながら標高1000mの高地なのでエアコン不要です。植民地時代に建てられた英国風のホテル

が立ち並ぶ高級リゾートです。ゴルフ場は国内に3つしかありません。No.1です。プレイしたかったのですが「一見さんお断り」でした。キャンデーのゴルフ場では日本陶器の駐在員に誘われて10回ほどラウンドしました。彼らは全員(会員権10万円)会員でチャージゼロ、ビジターの私でもわずか20000円でしたが、ボールボーイが左右に3人ずつついていました。地元少年達の数少ないバイトのようでしたが、OBどころかラフでもボールを探すが大変なのゴルフ場なので、曲がった球しか打てない私にとつては球代が節約できました。

2年経つたころ親会社の社長からすぐ帰国せよとの電話があり出社したところ「君は面接で倒産の経験があると言っていたな、実は不渡りを出しそうなので何とか助けてくれ」と言われて2回目の倒産を指導しました。3回目は四極会の後輩の仲介で資産が残っているうちにメイン銀行に内緒で精算したい会社があるとの依頼があり、銀行天下りの常務を解任し取締役総務部長に就任し、組合との交渉にあたり無事清算できる準備をしました。(弁護士でなくても社員なら問題ありません)

が立ち並ぶ高級リゾートです。ゴルフ場は国内に3つしかありません。No.1です。プレイしたかったのですが「一見さんお断り」でした。キャンデーのゴルフ場では日本陶器の駐在員に誘われて10回ほどラウンドしました。彼らは全員(会員権10万円)会員でチャージゼロ、ビジターの私でもわずか20000円でしたが、ボールボーイが左右に3人ずつついていました。地元少年達の数少ないバイトのようでしたが、OBどころかラフでもボールを探すが大変なのゴルフ場なので、曲がった球しか打てない私にとつては球代が節約できました。

退官や異動の先生ら万感の思い

忘れないよ 大分大学

大分大学経済学部は100周年を迎える。6月には、大分市内のホテルで記念式典を開催する。

その経済学部で30年以上勤務した下田憲雄教授と安田俊介准教授。5年という短い期間ではあったが、充実した時間を過ごしたという井川純一、江原慶両准教授。それに2年間でしたが、コロナ禍でよく頑張った外柁保大介准教授。それぞれの思いを残して、この4月に大分を後にした。

四極会の支援が力に

経済学部教授 下田 憲雄



令和4年3月をもって大分大学経済学部を退任することになりました。大分大学経済学部には平成2年4月に着任して以来、32年間の長きにわたりお世話になりました。

大分大学経済学部はこの2022年に100周年を迎えます。大分大学経済学部ならび

に四極会には大きな節目となり、誠におめでとうございます。私は、平成2年4月に大分大学経済学部に着任しました。以来、31年にわたり大分大学にお世話になりました。着任早々の時期は諸先輩に助けて頂きながら努めて参りました。直接的には五十嵐先生ら諸先輩にご指導いただきながら、講義や学部の業務をこなしていました。

大学は緑が豊かで、春の梅、木蓮、桜から始まる花々や木々の緑は見事でした。鶯、雲雀などの囀りも聞かれ、見事なまでに恵まれた自然環境のなかでの教員生活となりました。

着任して間もなく、経済学部創立70周年の式典を経験しました。周年記念行事は華やかでもあり、歴史を感じさせるものでした。90周年の頃は学部長を拝命しており、各地の四極会を訪問させていただく事ができました。東京、大阪、広島、北九州、福岡、熊本、宮崎、長崎等と総会などに参加させていただき、様々にご意見も頂きました。とりわけ東京四極会には東京でのインターンシップの実施にむけて多大なご協力をいただきました。大分に立地している大学

としては、学生達の首都圏での就職活動のてこ入れが求められていた時期でした。インターンシップが今のようになり前に実施される以前のことでしたので、東京四極会のサポートにはほんとうに助かりました。あらためまして御礼申し上げます。

32年間の経済学部での教員生活の間に、大分大学としては、大分医科大学との統合、国立大学から国立大学法人への法人化という組織変化がありました。めまぐるしい変化を経験させていただきました。学部長を4年間勤めさせていただきましたが、四極会のご支援が大きな力でした。当時の相良浩会長、す

大分は第2の故郷

経済学部准教授 安田 俊介



上にわたって本学で勤務してきました。

着任した当初は一般教育の語学科目としてフランス語のみを担当していましたが、大学設置基準の大綱化にともない、1994年からは新設された「地域システム学科」の専門講義科目として「フランス文化論」「現代フランス社会論」を隔年で交互に、またセミナー科目や卒業論文を含む演習も受け持つ

本年3月末をもって経済学部を定年退職することになりました。29歳の時に専任講師として採用していただき、以来30年以

で亡くなられましたが田中康生名誉会長には様々なご支援ご指導を頂きました。

この2年間は新型コロナウイルス禍のなかで大学もこれまでとは全く異なる環境下で運営されています。同窓会活動も多くの制約を受け、会員のみなさまにおかれましては多くの困難を抱えておられることと存じます。令和4年の年には新しい生活様式が少しずつ定着していくかとは思われますが、四極会活動はこれまでと同様に経済学部との相互の交流のもと絆を深め、次の100年に向けてますますの発展を願っております。

ことになりました。数年前からはその講義科目の名称も「フランス」から「ヨーロッパ」へと変わりました。

ざっくりと言えば、教員としての私は、本来ならフランス語だけを教えていけばすんでいたところが、フランス一国をはるかに越えたヨーロッパの文化史や歴史にまで手を広げることになったわけです。

もともと私の専門は文学で、しかも記号論をベースにした「テクストの構造分析」というかなり狭小な分野でした。したがって文化史や歴史を広く俯瞰するような講義をどのように組み立ててよいものかと当初はかなり悩みました。

試行錯誤しつつ、フランス革命後の「国民国家」の成立を区切りにして、革命以前のキリスト教化と革命以後の脱キリスト教化のプロセスを軸にして歴史のトピックを配列すれば、ある程度一貫したテーマ性を持たせられるだろうと考え、今に至っています。それまであまり手にとる機会もなかった本をかかなりの量読みました。私自身の視野を広げることにもつながり、大変でしたがいい勉強をさせてもらいました。

私はもともと東京の生まれで、九州の地に足を踏み入れたのも大分が初めてでした。今で

はこの地での生活が東京でかつて過ごした時間を越えました。大分は私にとつて第二の故郷となりました。

在職中、同僚の教員の皆様、事務職員の皆様には大変お世話になりました。また学生諸君か

充実した5年間だった

経済学部准教授 井川 純一



らも多くの刺激を得ることができました。最後になりますが今後の大分大学経済学部と四極会の皆様のみますのご健勝とご発展をお祈り申し上げます。長きにわたり本当にありがとうございます。

当初は、経済学部の学生に対して心理学者が何を教えるべきかについて悩んでいましたが、大分大学の学生は知的好奇心に溢れており、講義をしていても反応がよく、非常に楽しく講義をさせていただけました。その他、心理学概論(教職科目)や

私は2017年の4月に大分大学経済学部へ赴任しました。5年間という短い期間ですが大分大学では、非常に充実した時間を過ごすことができました。

このたび、本年3月をもって大分大学を退職し、東北学院大学に転出することになりました。転出にあたって一言お礼を言わせていただく機会を与えていただきありがとうございます。

学部で担当した講義は、産業・組織心理学が中心で、毎年多くの学生が受講してくれました。

地方国立大学の危機が叫ばれる中で、経済学部は伝統の強

み、職員同士の連携によって、十分な研究時間を確保することができました。科研費や論文、学会発表など過去最も生産性の高かった5年間になったと思います。自らの専門だけでなく、

経済、経営、観光などを専門とする先生方とのプロジェクトに参加させてもらったのもとても良い思い出です。事務職員の皆様にもとてもお世話になりました。実験等の準備でいろいろと特別な手配をしてもらい助かりました。経済学部は本当に人に恵まれている場所だと思えます。

私生活においては、妻と二人での赴任ということで2回目の新婚気分で大分県内の観光地を4周くらい楽しみました。大分には、別府、耶馬溪、中津、宇佐、

コロナ禍、頑張った学生

経済学部准教授 外 柙保 大介



国東と非常に多くの観光地があり、それぞれに魅力的な場所ですが、夫婦で一番足繁く通ったのは久住高原です。あの空気を感じれなくなるのはとてもさみしいです。

来年度からは東北学院大学において、心理学を専門とする学生を対象として講義を行います。経済学部では1人しかいない多分野の専門家ということで、良くも悪くも「ごまかし」がきいていたところもあると思います。専門分野の先生方に囲まれての研究・教育は、自分にとつても新しいチャレンジになりそうです。体を大事に燃え尽きない程度に頑張ります。みなさままたどこかで。経済学部のみますますの発展をお祈りいたします。

私は二〇二〇年四月に大分大学に着任して、主に地域経営論の講義を担当し、国内外の地域の産業経済や地域社会などについて、研究・教育を行ってきました。今春、本学を退職し、九州大学へ移ることになりました。分大での二年間は、コロナ

禍と重なり、短いながらも記憶に残る時間になりました。

二年間の授業のうち、学生と直接、教室で対面授業をできたのは三ヶ月程度で、それ以外はオンラインでの同時双方向型授業や、音声や動画を録画したオンライン授業によって実施するということが大学教員として初の試みの連続に試行錯誤が続きました。

コロナが一時的に落ち着いていた機会を見計らいながら、県内各地をゼミ生とともにフィールドワーク調査をすることもできました。別府市内では、市役所や観光協会、観光施設・宿泊施設各社のご協力を賜りながら、コロナ禍による温泉観光地別府への経済的影響や、自治体や各施設の取り組みなどについてインタビューをさせていただきました。

このほか、佐伯市や臼杵市で、古い街並みを活かしたまちづくりの取り組みなどについても学ぶことができました。お世話になった方々に深く感謝申し上げます。

この二年間で、様々なツールを使って、オンラインの可能性

を試すことができたのは一つの成果ではありますが、やはり大学にとつて対面接触は不可欠であり、学生たちにとつて、コロナ禍によって深刻な影響を及ぼしているのは、課外活動や留学などが抑制されてきたことです。学内でも、放課後のグラウンドに誰もいない光景は日常化してしまいました。今春の時点で、コロナ前の大学を知る学部生は、新四年生だけになります。多くのサークルでは、すでに活動の継承に困難をきたしています。また、せっかく外国語や欧米経済などを学んでも、留学や海外旅行をすることができず、目標を見失ってしまった学生は少なくありませんでした。

一方、学生にとつて就職活動がやりやすくなったのは、コロナ禍の思わぬ副産物でした。これまでの就職活動では、分大生たちは福岡や東京・大阪に行くことが少なくなく、費用的・時間的にハンディキャップを抱えていました。しかし、コロナ禍によって、企業説明会が動画の視聴で可能になったり、面接でオンラインを実施したりする企業が増えてきました。多くの選択肢や機会を得られるようになったことは、地元の就職先を志望する学生にとつても大きな刺激を与えています。

明けない夜はないように、パネミックがいつまでも続くとはいえません。コロナ後に、新たな形の学生活動が芽吹くことを期待して、注意深く見守りたいと思います。

とした記憶があります。「政治経済学」の担当教員として、ほぼすべての科目においてマルクス経済学の講義ができたのは本当に有難い環境でした。マルクス経済学の現代的再構築に取り組んできた私にとつて、新しく考えた内容を学生に話す機会は、教育と研究が直接つながっていることを肌で実感できる経験となりました。また、研究が行き詰まったときにも、学生に理解してもらえればという感覚が、支えになりました。教育活動と研究活動の密なつながりは、自分の先生から聞いて頭では知っているつもりでしたが、大分大学経済学部の学生たちのおかげで、初めて実践できたように思います。

経済学部へ感謝

経済学部准教授 江原 慶



大分大学経済学部には、

2017年11月より約4年半お世話になりました。それ以前は東京大学大学院経済学研究所におりましたが、任期の年限が近づいていましたので、大分大学への赴任が決まったときは、ずいぶんほっ

たことを誇らしく思っています。公私にわたってお付き合いいただいた先生方に改めてお礼を申し上げますとともに、引き続き学問上でのご指導をいただきたいと思います。

そうした成果として、大分大学経済学会より出版助成をいただき、単著『資本主義的市场と恐慌の理論』（日本経済評論社、2018年）を上梓することができました。この拙著については、第15回政治経済学・経済史学会賞を受賞するなど、学界でも取り上げていただく機会を得ました。また、英文での編著『Japanese Discourses on the Marxian Theory of Finance (Palgrave/Macmillan, 2022)』の出版にも漕ぎ着けることができました。大分大学経済学部の学生たちと先生方のご協力なしに、これらの成果はあり得なかつただろうと思います。

本年4月からは、東京工業大学リベラルアーツ研究教育院に所属します。研究のさらなる進展により、大分大学経済学部に恩返しできればと思います。

表紙のことは

「饗宴」

大分市佐賀関漁港

一九九六年に水産品として全国で初めて商品登録されたのが関アジ、関サバという魚のブランドです。それは、関アジ、関サバは高級魚として全国に知れ渡っていたが、ノウハウと多大な努力が積み上げられた結果であった。

即ち、関アジ、関サバは瀬戸内海と太平洋の水塊がぶつかる豊後水道にあるホゴ瀬に居ついた魚です。ホゴ瀬は海流も早く、一年を通じてプランクトンも豊富です。その魚は肥育が良く、身が締まった関アジ関サバとなったのです。海底の起伏が複雑な為、網ではなく一本釣り魚を傷つけない様にし、釣上後もストレスをなくす為には一日は生簀におかれ、売買も重量でなく面買いです。こうした品質向上の努力はブランドの評価を益々高揚して行つた。この様な状況が続いて、漁港は元氣な時代を迎えた。元旦には大漁旗と日の丸をかかげて新年を祝う様は、あたかも港の饗宴であった。

(大7回 山城幸三郎)

石川遼ゆかりのコースで熱戦



いつものメンバーが揃いました

大学17回生がゴルフ大会

令和3年11月8日、玉野市の東児が丘マリンヒルズGCで17回生の第16回ゴルフ会を開催。遼ちゃんが最年少アマで初優勝したコースで、小豆島や豊島など瀬戸内海の絶景を望みながらプレーを楽しんだ。コロナ緊急事態の解除やワクチン接種後ではあったが人数限定、感染者が少ない県での実施となった。

大会前日は、岡山のB級グルメ・デミカツ丼の濃厚ソースを味わった後、それぞれ大正の浮

世絵といわれる竹久夢二の美人画の鑑賞や後樂園での散策を楽しんだ。前夜祭は瀬戸内海鮮の極懐石料理を堪能しながら、一年ぶりの再会で盛り上がった。大会は遼ちゃんがバーディーで優勝を決めたNo.17でのプレーに期待をふくらませてスタート。時々の突風に加え、プロ大会の実績があるコースで、グリーンは広いが2段・傾斜・高速と難しく、バンカーはポット・アリソンなど様々な型に、数も多く、

熱戦となった。結果、ダブルペリアに強い3人が、トリプルすべてがHDに採用されるという完璧さで、上位を独占した。優勝は後藤君、6回のバンカーを上手くクリアしながらの我慢とHDに恵まれ、賞品の三崎まぐろを喜んでた。準優勝は坂本君、自称・ペリア王にふさわしい完璧さで、魚沼コシヒカリに満足していた。3位は鍵本君、パーは多いがHDホールでは配慮するという技?で、岡山10年古酒と初のDC賞を喜んでた。

以下、トリプルもなく安定したプレーで80台だった溝辺君、前半のDC・NP賞を総取りし、ベスグロだった長谷川君、大会唯一の3連続パーで後半に盛り

返し、NP賞に満足していた田川君、トリプルはないが、NP賞のみに終わった小田、後半の1ホールでの苦勞が報われ特別賞の銘酒・強力を獲得した柴田君でした。

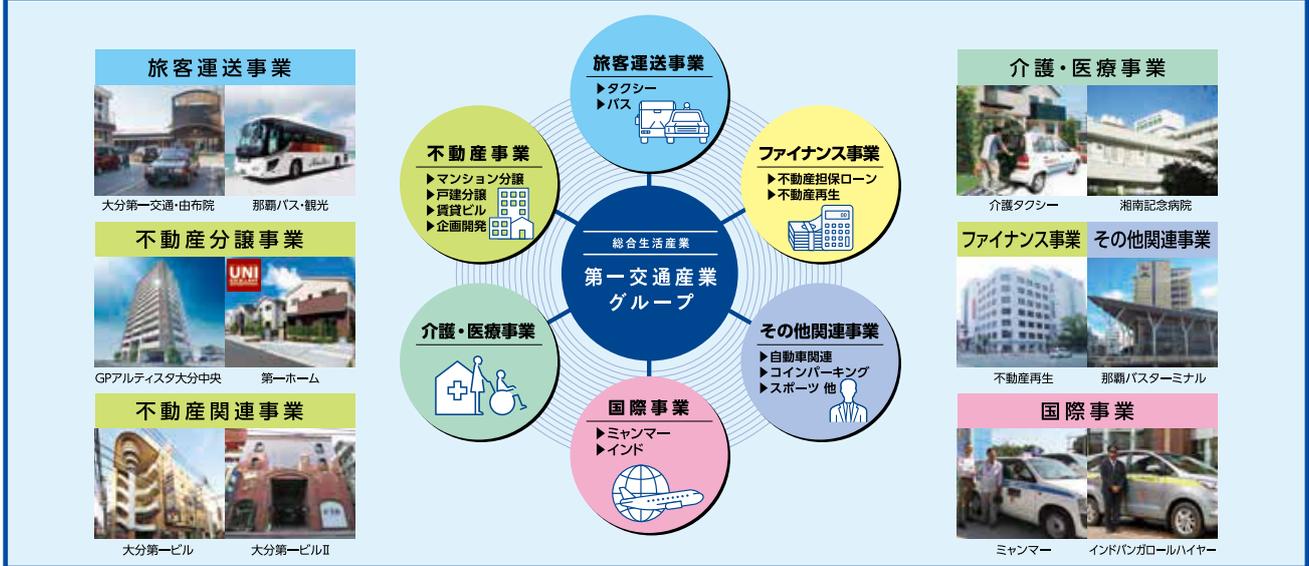
今回は限定人数でしたが、楽しいゴルフ会が無事に終了し、世話人としては安堵しています。新型コロナが終息し、参加者を拡大した大会での再会を願います。岡山賞品を土産に散会した。▼出席者(敬称略) 田川俊夫、溝辺憲治、柴田宏二、小田哲生、長谷川浩二、鍵本明、坂本直、後藤克己 (小田哲生記)

物故者

◆高商	19 足立 隆男 (R 3・11・↓)
◆経専	25 竹村 隆之 (R 3・11・20)
◆大学	2 朝重 正 (R 3・5・↓)
	2 佐藤 仁美 (R 3・11・7)
	2 佐藤 文雄 (R 3・8・30)
	4 西田 稔 (R 3・12・24)
	4 村上 哲郎 (R 3・10・5)
	4 安藤 昭夫 (R 3・8・13)
	6 浜脇 勇 (R 2・2・3)
	6 東 憲輔 (R 3・11・20)
	7 杉本 直也 (R 3・6・12)
	9 萱島 哲雄 (R 3・8・↓)

山下 勝三 (R 1・7・25)	井上 巍 (―・―・↓)	上田 坦 (R 3・8・24)	工藤 五喜 (R 4・3・14)	柳澤 弘二 (R 3・8・24)	福田 有序 (R 4・3・6)	橋本志真彦 (R 3・3・↓)	上崎 洋臣 (R 3・4・26)	衛藤 寛 (H 29・1・26)	大塚 茂樹 (R 4・3・6)	上野 禎二 (R 3・5・23)	平林 浩一 (R 2・7・↓)	中島 良純 (R 3・11・13)	河野 信幸 (R 3・5・↓)	出口 利則 (R 4・3・7)	森 紀代美 (H 23・―・↓)
------------------	--------------	-----------------	------------------	------------------	-----------------	-----------------	------------------	------------------	-----------------	------------------	-----------------	-------------------	-----------------	-----------------	------------------

北海道から沖縄まで全国をネットワークする第一交通産業グループ



一般財団法人 第一交通産業 記念館

〒802-0042 北九州市小倉北区足立2丁目7-17

すべての道は、人に通ず。

人を見つめ、地域社会を見つめ、時代を見つめながら、
 明日の快適生活環境を創造してきた「第一交通産業」の歴史と歩み、
 そして創業者黒土 始の経営理念をご紹介します。
 ぜひ一度ご来館下さい。



ご来館される皆様へ

発熱（37.5℃を目安）又は風邪の症状が有る場合は来館をお控えください。
 入館時はマスク着用をお願い致します。 **緊急事態宣言中は閉館となります**

- 開館時間 午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで/年中無休）
※臨時休館日があります。また開館時間変更になる場合がございます。ご了承ください。
 - 交 通 ・バス：小倉駅バスセンターから西鉄バス「霧丘三丁目行き」 小倉駅入口バス停から西鉄バス「霧丘三丁目行き」
 27番、28番に乗車、「妙見下バス停」で下車。徒歩約7分。 93番に乗車、「妙見橋バス停」で下車。徒歩約4分。
 ・車：北九州都市高速「足立北ランプ」又は「富野ランプ」から約5分。（記念館には駐車場完備）
- 入館無料** 通常はセキュリティーシャッターが下りていますので、インターホンを押してください。

【ご見学のお問合せは】

第一交通産業株式会社 総務部 TEL093-511-8811(代)



グループ本社 代表取締役 創業者会長 **黒土 始**（高商18回）



〒802-8515 北九州市小倉北区馬借2丁目6番8号